

EKIHIRO Basic Policy

福山駅前広場整備基本方針

目次

I はじめに		IV スケジュール	
01 はじめに	2	01 スケジュール	28
II 基本理念		V 参考資料	
01 基本方針策定の目的	7	01 基本方針の対象エリア	30
02 まちを良くする視点	8	02 基本方針の位置付け	30
03 駅前広場の再編の目的	9	03 駅周辺の公共空間の再整備イメージ	31
04 利用者目線の価値	10	04 計画のプロセス	31
III 基本的な方針		05 ウォークアブルエリア	32
01 福山駅前広場の問題点と課題解決の方向性	12	06 現状と問題点	33
02 課題解決の方向性	13	07 意向調査結果	39
03 Vision(将来像)	14	08 交通需要の推移	44
04 方向性に沿った計画の考え方	15	09 これまでの取組	47
05 各機能の配置計画	23	10 福山駅前広場協議会構成員名簿	50
06 今後の検討項目	26		

I はじめに

01 はじめに

福山駅周辺の魅力やにぎわいの低下

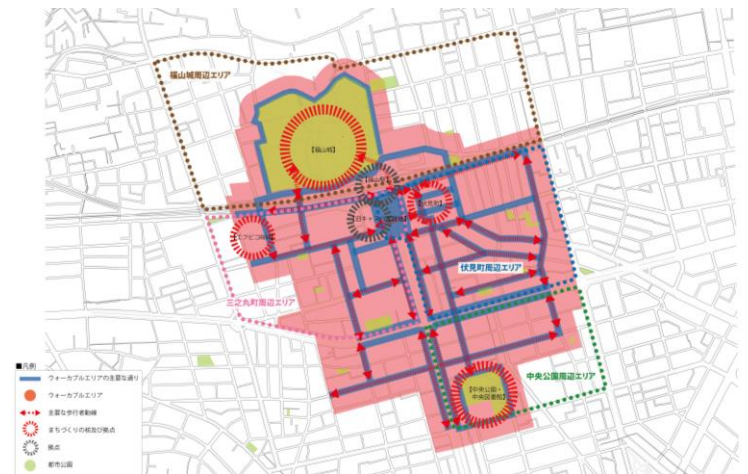
福山駅周辺は1946年に始まった戦災復興土地地区画整理事業から1990年代前半までの間、福山市のみならず、備後圏域のにぎわいの場として多くの人を惹きつけてきました。しかし、車社会の到来や郊外への大規模商業施設の立地、インターネットの普及などによる消費者行動の変化などから駅周辺に訪れる人が少なくなり、空き店舗や空き地が増えるいわゆる都市のスポンジ化が起きました。そのため、駅周辺から多様な機能が減少し、市民を始め、市外からの訪問者にとって魅力やにぎわいを感じにくくなりました。



めざす福山駅前姿のイメージ
福山駅前再生ビジョンより

福山駅周辺の再生に向けた取組のはじまり

人口減少や少子化・高齢化が進行する社会であっても、福山市や備後圏域が持続的に発展していくためには、その玄関口である駅周辺が市内外から人や企業を惹きつける魅力あるエリアとして、経済や文化の中心となる必要があります。そのため、2018年に福山駅前再生ビジョンを策定し、「働く・住む・にぎわい」が一体となった福山駅前」をめざす姿に掲げました。2020年には、めざす姿の実現に向けて、福山駅周辺デザイン計画を策定し、駅周辺を居心地が良く歩きたくなる空間（ウォーカブルな空間）へと転換していくこととしています。



ウォーカブルエリア
福山駅周辺デザイン計画より

01 はじめに

福山駅周辺の再生がめざすもの

福山駅周辺デザイン計画では、駅周辺の再生がめざすものとして、次のような考え方を示しています。

① エリア価値を高める経済循環

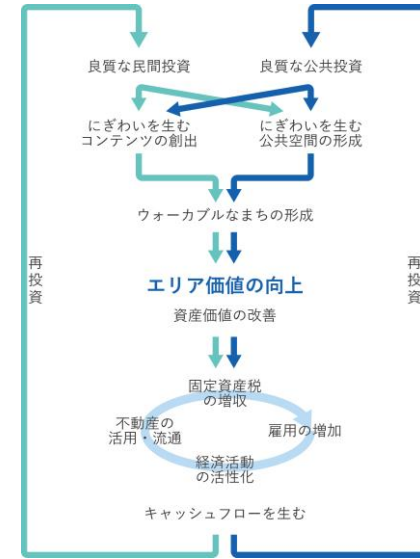
官民の良質な投資により、にぎわいを生むコンテンツを創出すること、公共空間を形成することで、ウォーカブルなまちを形成し、エリア価値を高めていく経済循環を再構築します。

② 市域全体の一体的で持続可能な発展

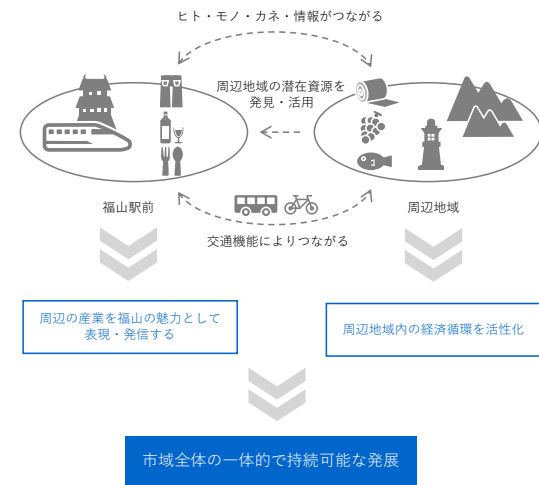
本市の都市核の中心である駅前と周辺地域のヒト・モノ・カネ・情報がつながることで相互に経済の好循環を生み出し、市域全体の一体的で持続可能な発展をめざします。駅周辺の再生と、周辺地域の潜在資源の発見・活用が連動することで新しい持続する産業を生み出し、その効果を備後圏域から中国・四国地方へと波及させていきます。

③ 将来の都市構造を実現するまちづくり

駅周辺や周辺地域の生活拠点にその規模や特性に応じた都市機能を集積し、これらを公共交通などで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方でまちづくりを推進します。都市核や地域核、その他の生活拠点を結ぶ利便性の高い公共交通軸を確立するとともに、地域実態に応じた移動サービスを導入し、維持・確保することで、市民の日常生活や地域活力を支えます。



エリア価値を高める経済循環



市域全体の一体的で持続可能な発展

福山駅周辺デザイン計画より

01 はじめに

福山駅周辺のまちの変化

福山駅前再生ビジョンや福山駅周辺デザイン計画に基づき、官民が連携して様々な取組を進めてきました。福山城のライトアップや北口スクエアの整備、エフピコRiMのリニューアルオープン、旧キャスパ跡地の再開発、遊休不動産をリノベーションした店舗のオープン、中央公園へのガーデンレストランのオープンなど、官民の投資により、まちに変化が起こり始めています。



福山駅周辺のまちの変化

福山駅前広場の再編の検討を開始

福山駅前広場は市街地形成や交通体系と深い関わりをもっており、都市の発展や都市交通を取り巻く環境の変化に対応した改修が行われ、交通結節機能を集約した現在の姿に至っています。今後、駅周辺を市内外から人や企業を惹きつける魅力あるエリアとしていくためには、駅周辺のエリアの中心に位置する駅前広場を将来の駅周辺のまちの変化や交通体系の変化に対応し、交通結節機能を確保した居心地が良く歩きたくなる空間へと転換していく必要があります。駅前広場の利用実態調査やアンケート調査からも、交通結節機能の改善や都市の広場機能の充実が求められていることが示唆されたことから、2021年10月に福山駅前広場協議会を設置し、まずは現在の駅前広場の問題点や課題の整理から、検討を開始しました。



現在の福山駅前広場

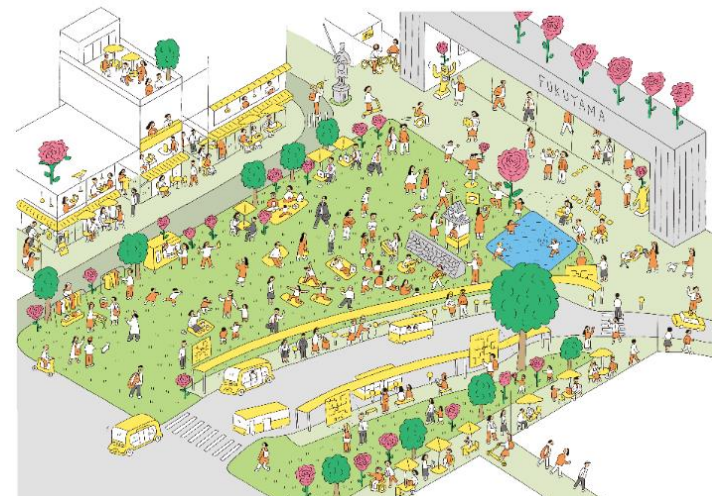
01 はじめに

幅広い意見を聴き取りながら基本方針を策定

第1回協議会では委員から「駅前広場を利用する人たちに分かりやすい議論をしていくために、叩き台となる機能の配置案を検討してもらいたい」という意見をいただきました。そのため、協議会や福山駅前広場デザインシンポジウム、アンケート調査の意見に加えて、福山駅前広場協議会分科会を開催し、各移動サービスを提供する事業者や専門家の意見を伺いながら、2022年1月に福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）を取りまとめました。そして、素案を示しながら、協議会やシンポジウム、アンケート調査で利用者などの意見を聴き取りながら、議論を行ってきました。更に実証実験によって得られた広場空間に対する市民ニーズやタクシーの配車方法の検証結果を踏まえ、本基本方針を取りまとめました。この基本方針に基づき、駅前広場を交通結節機能と都市の広場機能が融合した居心地が良く歩きたくなる空間へと転換していきます。



福山駅前広場協議会などの開催やアンケート調査を実施

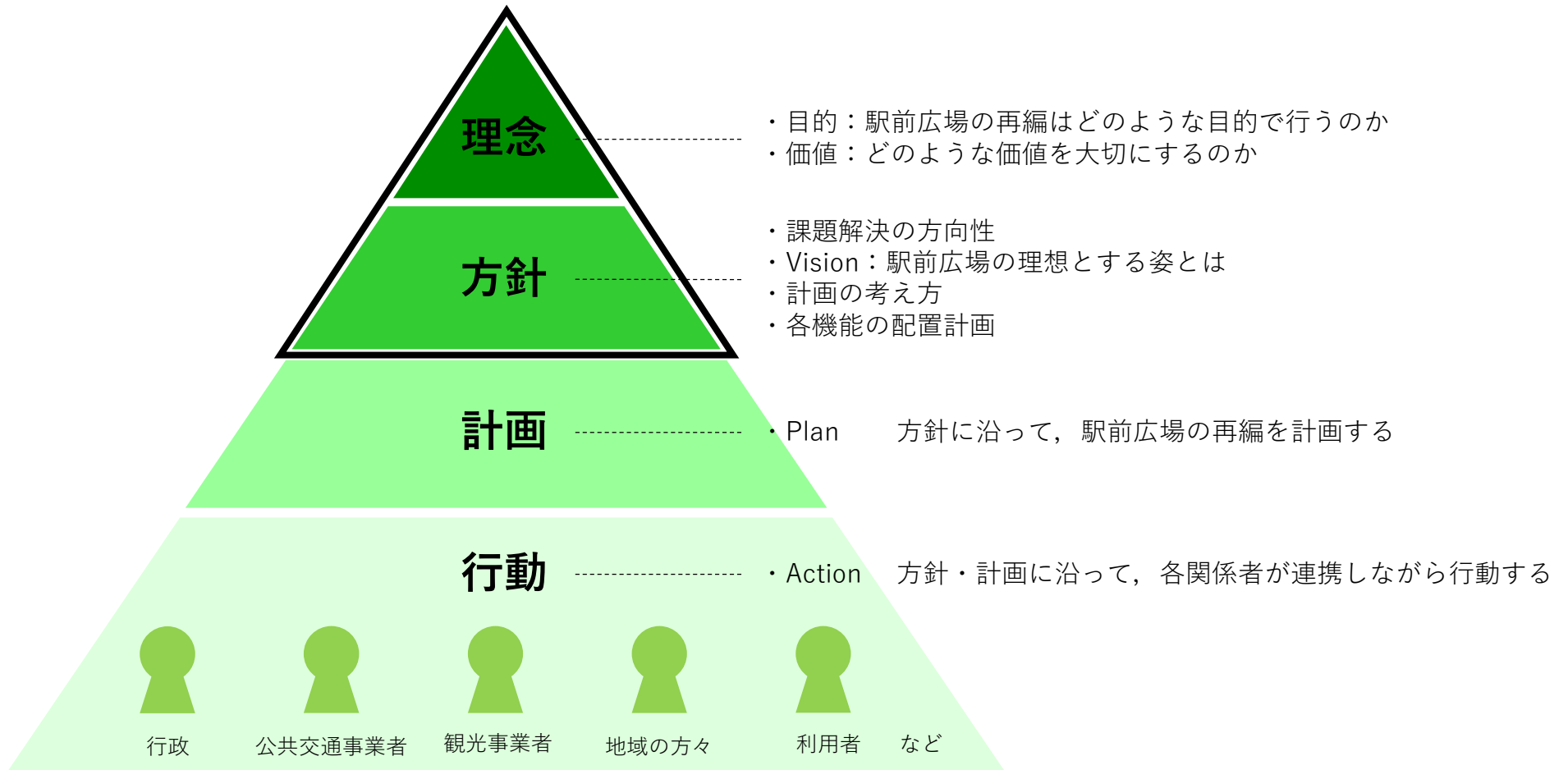


福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）のイラスト

II 基本概念

01 基本方針策定の目的

この基本方針は、駅前広場の再編の理念と計画・整備に係る基本的な方針を示すものです。様々な立場の人々が理念や方針を共有し、『まちを良くする視点』を持って、連携しながら行動することによって、駅前広場を交通結節機能と都市の広場機能が融合した居心地が良く歩きたくなる空間へと転換します。



02 まちを良くする視点

駅前広場の再編にあたっては、様々な立場の人々が『個々の視点』で考えるだけではなく、『まちを良くする視点※』も持って連携することが大切です。



※駅や駅前広場、周辺市街地を一体的な「まち」と捉え、「まち」を人や企業を惹きつける魅力あるエリアへと変える視点のこと

03 駅前広場の再編の目的

JR福山駅は備後圏域最大の交通結節点であり、広域的に人を呼び込む大きなポテンシャルがあります。

本市や備後圏域が持続的に発展していくためには、その玄関口である駅周辺が市内外から人や企業を惹きつける魅力あるエリアとして、経済や文化の中心となる必要があります。

駅周辺を市内外から人や企業を惹きつける魅力あるエリアに変えるため、その核となる駅前広場を交通結節機能と都市の広場機能が融合した居心地が良く歩きたくなる空間へと転換します。



福山駅前再生ビジョンに示す福山駅前のイメージ
※駅前広場の整備計画を示すものではありません

04 利用者目線の価値

駅前広場の再編にあたっては、「使いやすさ」、「過ごしやすさ」、「安心感」、「福山らしさ」といった利用者目線の価値を大切にします。

使いやすさ

- ・ 徒歩や車両でスムーズに移動できる
- ・ 公共交通が使いやすく、車を持たなくても暮らせる
- ・ 周辺施設との連携により、便利に使える
- ・ 新しいヒトやモノ、情報に出会えて、役に立つ
- ・ 柔軟性や可変性のある空間で使いやすい

過ごしやすさ

- ・ 誰でも簡単に様々な活動を行うことができる
- ・ 誰もが（一人でも）居心地が良く過ごすことができる
- ・ 天候によらず、使うことができる
- ・ 心地よい穏やかな光景を見ることができる
- ・ 歩いたり会話する機会が増え、健康に暮らせる

安心感

- ・ 社会的なつながりを得られる
- ・ 徒歩や車両で安全に移動できる
- ・ 防犯性の高い環境で安全に使える
- ・ 緊急時に安全に逃げ込める

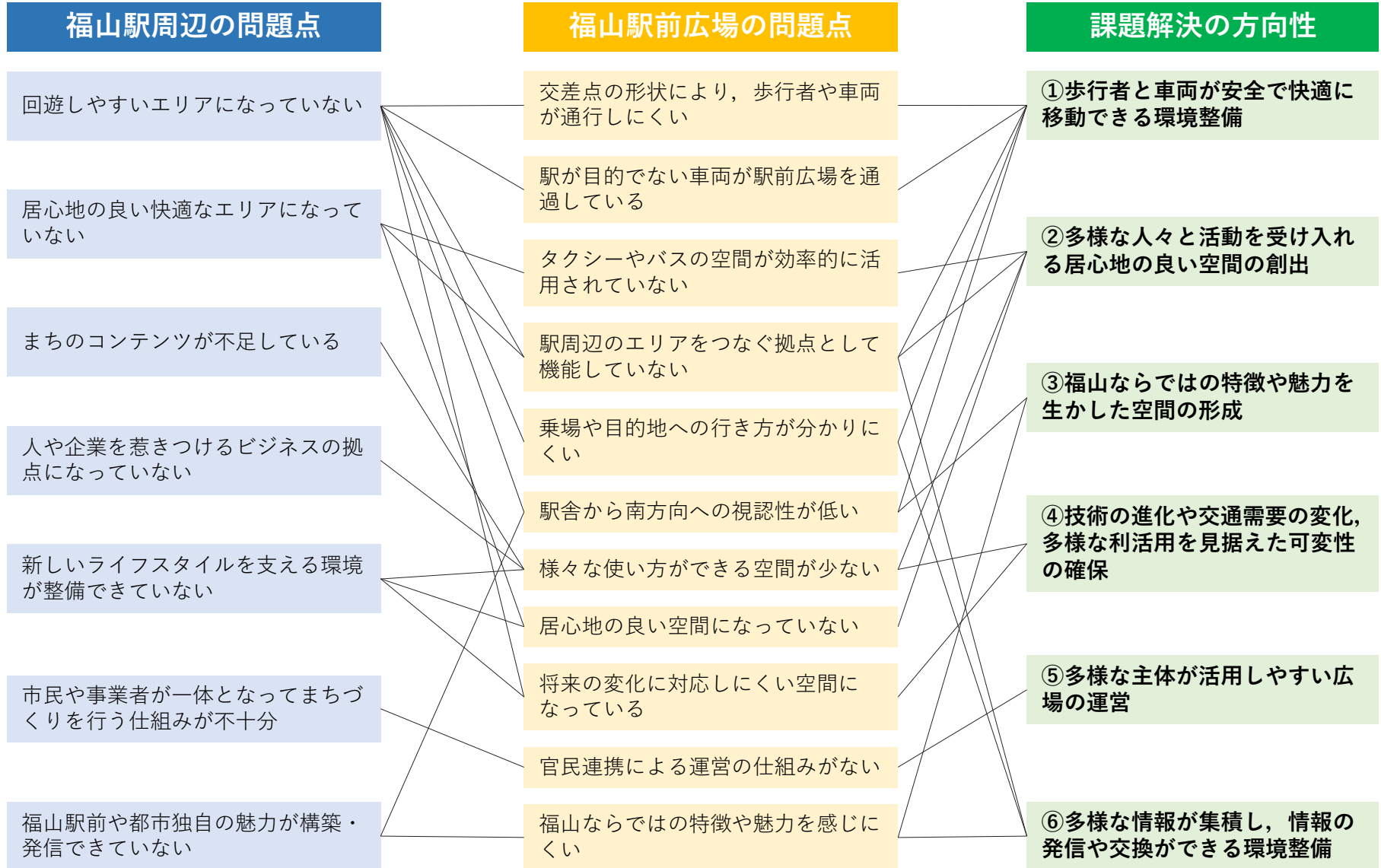
福山らしさ

- ・ 福山の歴史や文化を感じられる
- ・ 福山の気候や風土との調和を感じられる
- ・ 駅周辺や周辺地域の様々な魅力を感じられる
- ・ 訪れる人々が愛着を感じられる
- ・ まちの多様性やにぎわいのエネルギーを感じられる

Ⅲ 基本的な方針

01 福山駅前広場の問題点と課題解決の方向性

福山駅前再生ビジョンに示す駅周辺の問題点と福山駅前広場の問題点及び課題解決の方向性は次のとおりです。



02 課題解決の方向性

次の6つの課題解決の方向性に沿って、駅前広場整備の計画を検討します。

課題解決の方向性

①

歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備

駅前広場内だけで考えるのではなく、駅周辺のエリアと一体的に考えながら、駅周辺のエリアとの連続性を高める環境整備を行うことによって、訪れた人々が歩いていても、運転していても、安全で快適に使える駅前広場をめざします。

②

多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出

国内外から多様な人々を受け入れることができる寛容性と多様性に満ちた空間づくりを行うことにより、駅前広場が乗継ぎの場としてだけでなく、一人でゆっくりと過ごしたり、家族や友人、恋人などと過ごし、交流できる居場所になることで、訪れた人々が愛着を感じる駅前広場をめざします。

③

福山ならではの特徴や魅力を生かした空間の形成

ばらなど、福山ならではの地域資源を生かした空間づくりや福山城の遺構を生かした空間づくりにより、市民が誇りに思える駅前広場をめざします。

④

技術の進化や交通需要の変化、多様な利活用を見据えた可変性の確保

デジタルテクノロジーなどの技術の進化や将来の交通需要の変化、駅前広場の多様な利活用を見据え、柔軟に対応できる空間づくりを行うことにより、訪れた人々が便利に使える駅前広場をめざします。

⑤

多様な主体が活用しやすい広場の運営

官民が連携して駅周辺のエリア価値を高めていく広場の運営の仕組みづくりを行い、多様な主体が活用しやすく、訪れた人々が魅力的に感じる駅前広場をめざします。

⑥

多様な情報が集積し、情報の発信や交換ができる環境整備

多様な情報が駅前広場や駅周辺に集まり、発信されることによって、訪れた人々が駅周辺や周辺地域の魅力や各種サービスの情報を得たり、訪れた人々の出会いや交流によって、情報が交換されるような情報のハブ機能を担う駅前広場をめざします。

03 Vision (将来像)

駅前広場の「課題解決の方向性」と福山駅周辺デザイン計画に基づく「福山駅周辺の再生がめざすもの」を踏まえ、福山駅前広場の将来像を次のとおり掲げます。

福山駅前広場の「課題解決の方向性」

- ①歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備
- ②多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出
- ③福山ならではの特徴や魅力を生かした空間の形成
- ④技術の進化や交通需要の変化,多様な利活用を見据えた可変性の確保
- ⑤多様な主体が活用しやすい広場の運営
- ⑥多様な情報が集積し,情報の発信や交換ができる環境整備

「福山駅周辺の再生がめざすもの」

(福山駅周辺デザイン計画より)

- ①エリア価値を高める経済循環
- ②市域全体の一体的で持続可能な発展
- ③将来の都市構造を実現するまちづくり

福山駅前広場の将来像

あらゆる資源をつなぎ、福山らしい豊かな暮らしを実現する駅前広場

～ヒト・モノ・カネ・情報・交通をつなげ、愛着・誇り・魅力ある駅前広場へ～

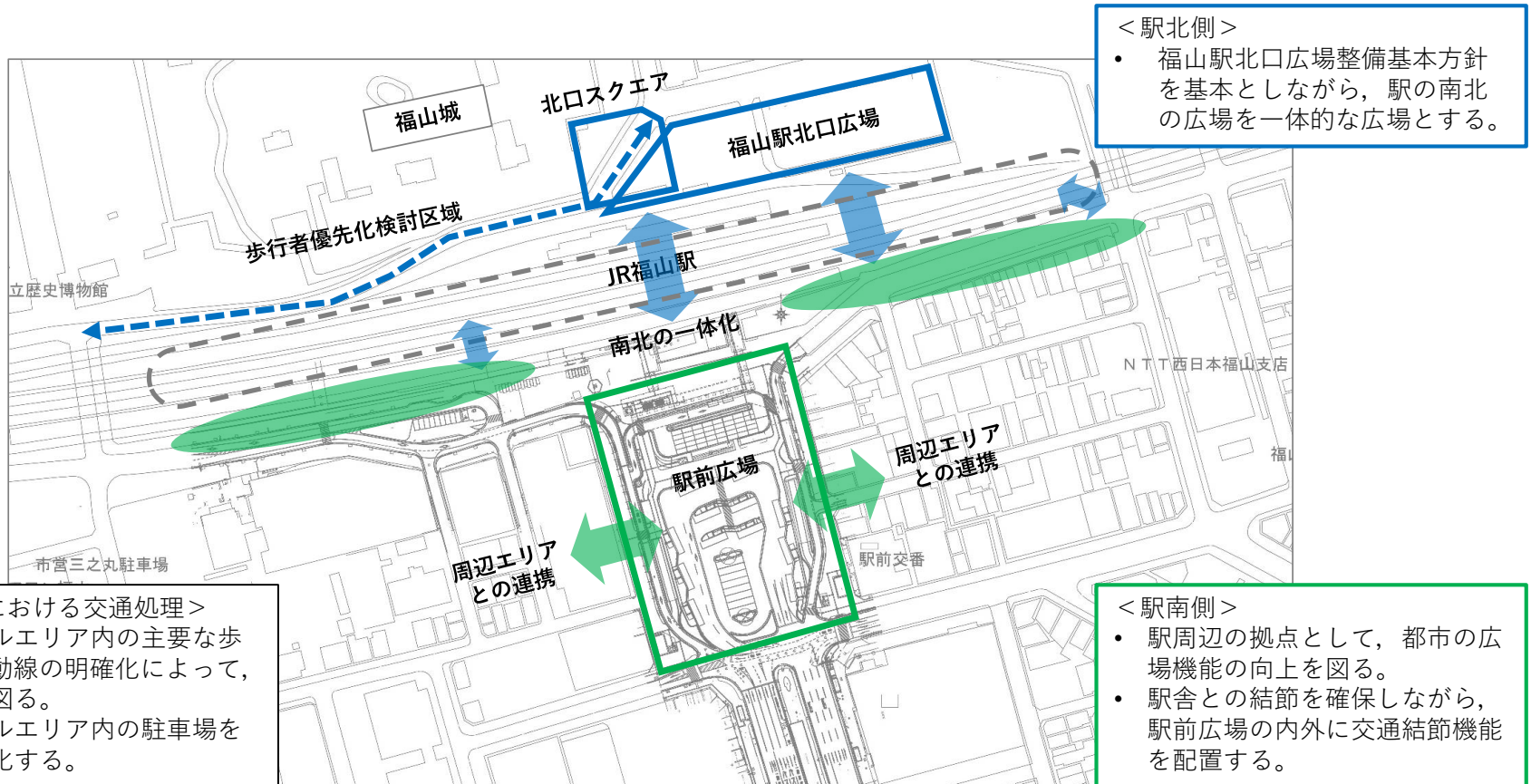
次頁以降では、上記の「福山駅前広場の将来像」の実現に向け、「課題解決の方向性」に沿って計画の考え方を整理していきます。

04 方向性に沿った計画の考え方

① 歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備

< 駅南北の役割分担の考え方 >

- 東西に長い駅舎の特性を生かし、駅舎との結節箇所を増やすことで、交通結節機能を十分に発揮させます。
- 駅の南北間の交流軸の創出により、駅の南北の空間を一体的に、歴史や自然があふれる備後圏域の玄関口にふさわしいウォークアブルな空間へと転換します。

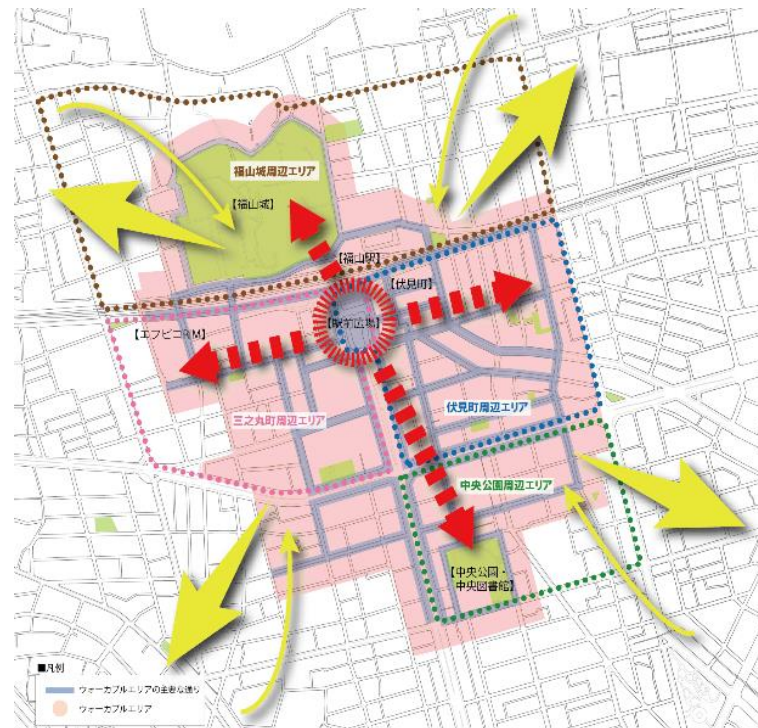


04 方向性に沿った計画の考え方

① 歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備

<動線計画の考え方>

- ・ 駅前広場内の通過交通を排除するなど、歩行者と車両（自転車を含む）が安全で快適に移動できる動線を計画します。
- ・ 駅周辺のエリアをつなぐため、駅前広場とともに駅前大通りを再整備し、東西方向の回遊性を向上させます。
- ・ 駅前広場の交差点をコンパクトにすることで歩行者の回遊性を向上させると同時に、複雑な交差の解消によって分かりやすい車両動線とします。
- ・ 交通結節機能の配置や運用方法に関する実証実験を行い、得られた結果を計画に反映します。



駅前広場を核として駅周辺のエリアをつなぐイメージ

04 方向性に沿った計画の考え方

① 歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備

<立体利用の考え方>

- ウォークラブルなまちづくりの観点から、道路や沿道建物の低層階部など、まちなかにおいて歩行者の目線に入る範囲の連続性を重視した空間づくりとします。
- 駅舎がダブルデッキ構造であるため、ペDESTリアンデッキを設置すると新たに昇り降りが増えることから、平面式の駅前広場とします。



わたしたちが共有できる「まち」とは、実際のまちの中の、どの部分だろうか。

「マイパブリックとグラウンドレベル」(田中元子)を一部加工



人中心の空間として再生したまちのメインストリート

「2040年、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～」(国土交通省)より

04 方向性に沿った計画の考え方

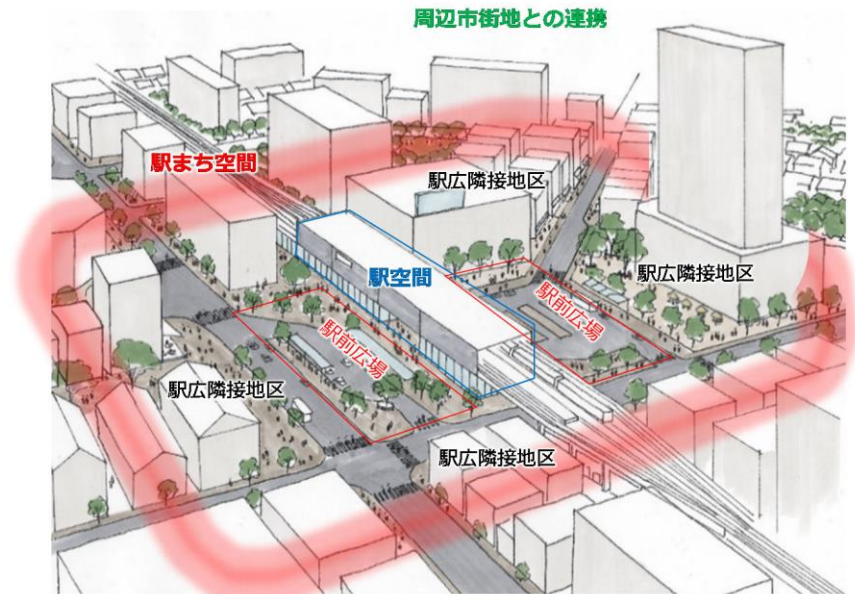
② 多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出

<環境空間の考え方>

- 多様な人々が集い・憩い・くつろげるような居心地の良い空間づくりを行います。
- 様々な活動ができる空間とするため、環境空間をなるべく広く確保します。
- 周辺街区や周辺施設との連携強化が見込めるように環境空間を配置します。
- 玄関口としてのまちの魅力の向上や気軽なまち歩きの動機の創出のため、駅舎からの視界の広がり向上させます。
- 駅前広場及び駅周辺のエリアに市内外から多様な人々が集まることで、公共交通の利用促進を図ります。



求められる駅まち空間のイメージ



周辺市街地との連携

「駅まちデザインの手引き」（国土交通省）より

04 方向性に沿った計画の考え方

③ 福山ならではの特徴や魅力を生かした空間の形成

<福山ならではの特徴や魅力の考え方>

- ばらなど福山ならではの地域資源を生かした空間づくりを行います。
- 駅前広場を訪れる人々が福山の歴史や文化を感じられる空間にするため、福山城の遺構やそれに関連する歴史資源を大切にしながら、福山城の遺構を生かした空間づくりを行います。



ばらと福山城を生かした空間（北口スクエア）



福山城の遺構

04 方向性に沿った計画の考え方

④ 技術の進化や交通需要の変化，多様な利活用を見据えた可変性の確保

<交通空間の考え方>

- 人口や交通，観光客数の推移から各交通施設の利用に関する大きな増減はないことから，交通結節機能を低下させないように，各交通施設数は現状と同程度確保することを基本とします。
- 駅舎との結節を東西に広げ，公共交通の運用方法を考慮しながら，各交通施設を駅前広場の内外に適切に配置します。
- 駅前広場と駅前大通りによって低下している東西方向の回遊性を向上させるため，駅前広場内の交通空間や駅前大通りを縮小します。
- 整備後も技術の進化や交通需要の変化に柔軟に対応できる計画とします。



MaaSや自動運転に対応した人が主役の都市交通ターミナル



様々な交通モードの接続・乗り換え拠点（モビリティ・ハブ）

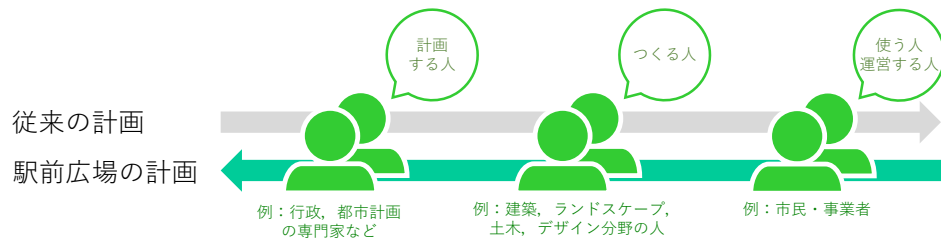
「2040年，道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～」 （国土交通省）より

04 方向性に沿った計画の考え方

⑤ 多様な主体が活用しやすい広場の運営

<使用・運営・管理の考え方>

- 使う人や運営する人の考え方を取り入れながら計画します。
- 実証実験を行い、得られた結果を計画に反映します。
- 多様な使い方ができる空間づくりを行い、併せて、柔軟な管理方法を計画します。
- 駅前広場の活用により、駅周辺のエリア価値が高まる運営の仕組みづくりを行います。



計画策定のプロセス
福山駅前周辺デザイン計画を参考に作成



福山駅前広場再編実証実験の様子（2022年11月）

04 方向性に沿った計画の考え方

⑥ 多様な情報が集積し、情報の発信や交換ができる環境整備

<情報のハブ機能を担う環境づくりの考え方>

- 訪れた人々が駅周辺と周辺地域の魅力や各種サービスの情報を得たり、訪れた人々の出会いや交流によって情報が交換されるように、官民が連携して情報発信や情報交換が行える環境づくりを行います。
- 乗場や目的地への行き方が分かりやすい案内表示とします。



周辺地域の魅力の発信方法のイメージ



デジタル案内やスマホアプリ等による多言語の道・まち案内

「2040年、道路の景色が変わる ~人々の幸せにつながる道路~」 (国土交通省) より

05 各機能の配置計画

●基本となる各機能の配置計画

以上の計画の考え方を踏まえ、バスやタクシー、一般車送迎の配置について、次のとおり検討しました。

分科会においては、「東西に長い駅舎との結節を増やして、交通機能を分散させる」、「西送迎場にタクシーの乗降場を配置し、その付近に駅舎の出入り口ができれば、新幹線の改札と直結できる」、「国道2号とのアクセス性が高い伏見町側にバス乗降場を配置する」、「駅前大通りの道路幅を狭くして、交差点を小さくする」、「タクシーとバスの待機場は広場外に移して、ショットガン方式で配車する」などの意見が出ました。

協議会においては、分科会の意見を基に機能配置を示す素案を作成し、意見を聴き取った結果、「ワクワクする」、「期待感を感じる」などの意見がありました。

その後、シンポジウムやアンケート調査で市民から意見を聴き取った結果、「公共交通や観光バス、一般車の乗場を駅舎の近くに配置してほしい」、「快適な広場がほしい」、「人が広場を自由に東西に行き来できるような配置にしてほしい」など、交通結節機能と都市の広場機能、それぞれを重視する意見がありました。そのため、両方の機能がバランス良く配置された素案を基本に検討を進めました。

そして、タクシー乗降場を福山駅西送迎場に配置する実証実験を行った結果、タクシーを待つ利用者が見受けられましたが、待機台数と配車時間の調整を行えば、駅前広場外の待機場からショットガン方式による配車が可能であることが分かりました。

以上のことから、これまで検討してきた次の頁に示すA案からD案のうち、広場空間を東西に分散配置するC案は、交通結節機能を確保できること、東西方向の回遊性を向上させるとともに広場空間を大きく確保できること、周辺街区と接する広場の範囲が広く周辺街区との連携強化も見込めること、既存の公共用地内に配置でき実現性が高いことから、交通結節機能と都市の広場機能が融合した駅前広場が実現できる案だと考えられます。

そのため、**基本計画ではC案を基に検討を行っていきます。**

05 各機能の配置計画

<これまで検討してきた空間配置の評価>

- ・ バース数は現状と同程度で作成
- ・ 各車両の動線は実際の軌跡と同程度で作成
- ・ 地下駐車場と地下送迎場の接続等を想定して作成

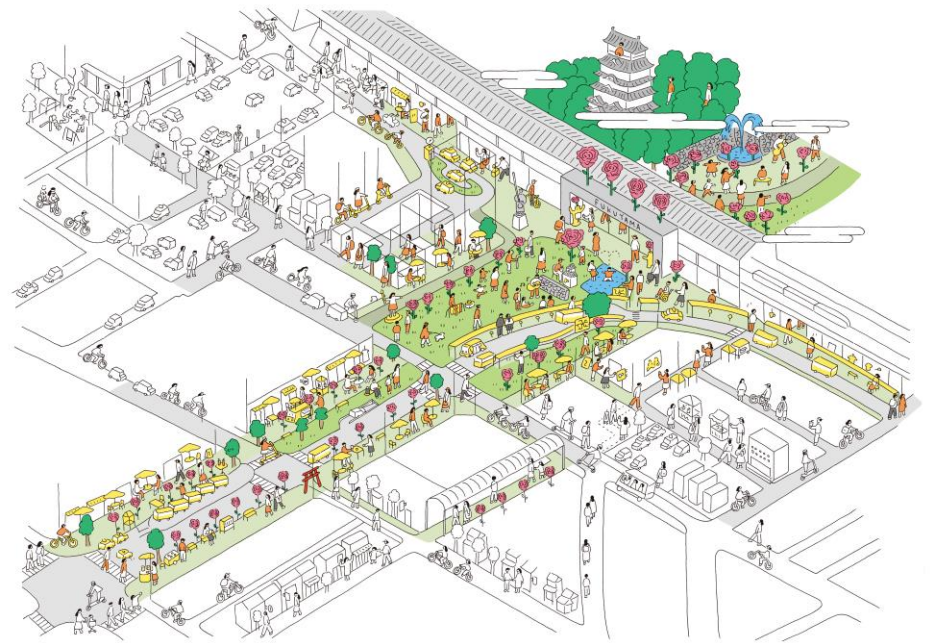


	現状	A:北側に集約	B:東西のいずれかに集約	C:東西に分散配置 (素案)	D:全面広場化
計画の考え方					
東西方向の回遊性 ①	× 交通島や車両動線，駅前大通りにより，歩行者は迂回をしたり，地下への昇り降りが必要となる。	△	×	○	◎
広場の規模 ② ⑤	× 交通結節機能を集約しているため，まとまった広場空間が少ない。	△	△	○	◎
実現性	—	○	○	○	△

05 各機能の配置計画

●各機能の配置計画図

改めてC案をイメージすると以下の図となります。ただし、東西の空間の一体性をより高めるため、駅前広場外にバスターミナルを配置して、全面的に都市の広場機能を生かすべきという意見も多くあったことから、**駅周辺の開発動向によっては、駅前広場を全面的な広場とする計画（D案）も視野に弾力的な検討を行います。**

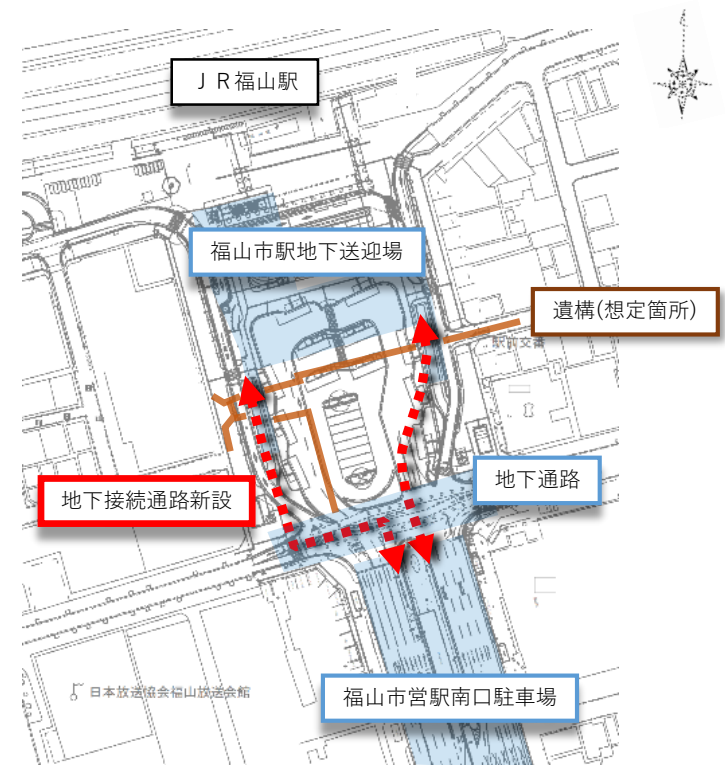


福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）のイラスト

06 今後の検討項目

基本計画での主な検討項目は次のとおりです。

- ① **歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備**
 - ・ 歩行者と車両の動線検討
 - ・ 福山市営駅南口駐車場と福山市駅地下送迎場の接続
- ② **多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出**
 - ・ 居心地の良い空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）
 - ・ 駅舎からの視界の広がり向上（同上）
- ③ **福山ならではの特徴や魅力を生かした空間の形成**
 - ・ 福山ならではの地域資源を生かした空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）
 - ・ 福山城の遺構を生かした空間の検討（同上）
- ④ **技術の進化や交通需要の変化，多様な利活用を見据えた可変性の確保**
 - ・ 各交通施設の施設数や配置場所（転回場・走行ルート・交通規制など）
 - ・ 公共交通の運用方法の検討
- ⑤ **多様な主体が活用しやすい広場の運営**
 - ・ 多様な使い方ができる空間づくり（使用方法の検討）
 - ・ 駅周辺のエリア価値が高まる運営の仕組みづくり（運営方法の検討）
 - ・ 柔軟な管理方法の検討
- ⑥ **多様な情報が集積し，情報の発信や交換ができる環境整備**
 - ・ 官民連携による情報発信の仕組みの検討（情報の内容・発信方法・発信場所など）



福山市駅地下送迎場と福山市営駅南口駐車場の接続のイメージ

IV スケジュール

01 スケジュール

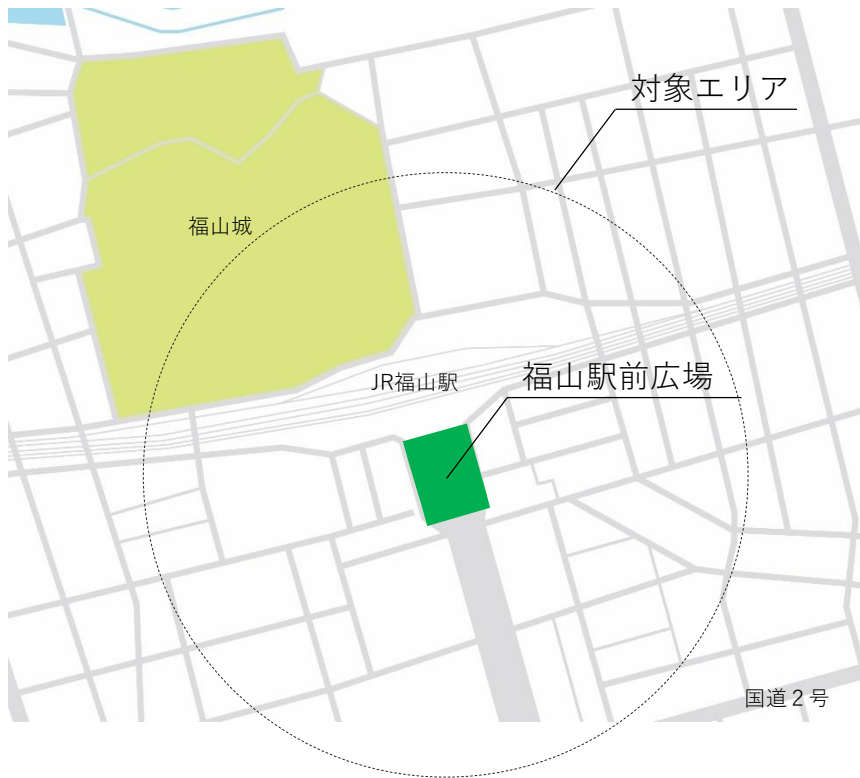
年度	内容
2021年度（令和3年度）	協議会設置，基本方針（案）検討
2022年度（令和4年度）	基本方針の策定
2023年度（令和5年度）	基本計画（案）検討
2024年度（令和6年度）	基本計画の策定
2025年度（令和7年度）以降	調査，設計，施工

※目標年次は計画内容によって変わるため，現時点では未定です。

V 參考資料

01 基本方針の対象エリア

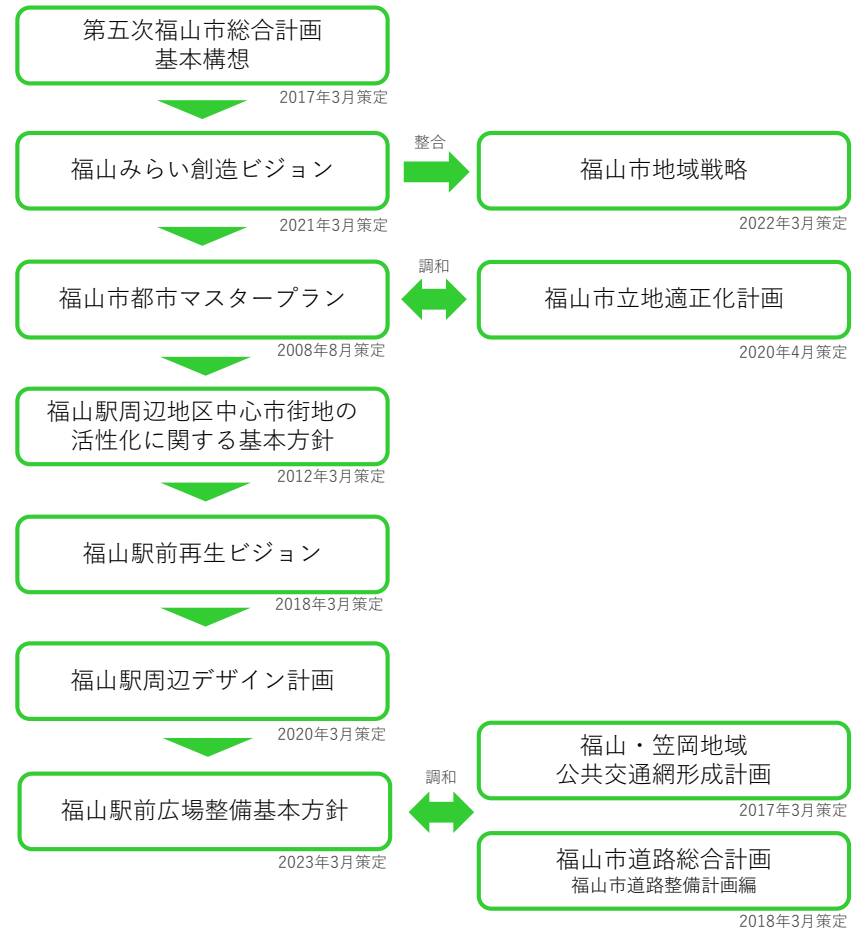
交通結節機能と都市の広場機能の両方を確保するためには、駅前広場の限られた範囲だけでは両方の機能を確保することは難しいため、駅前広場の周辺を含めたエリアを対象エリアとします。



国土地理院の基盤地図情報をもとに編集・加工して作成

02 基本方針の位置付け

この基本方針は「第五次福山市総合計画基本構想」や「福山みらい創造ビジョン」「福山市都市マスタープラン」などを上位計画とし、他の関連計画との整合を図ります。



03 駅周辺の公共空間の再整備イメージ

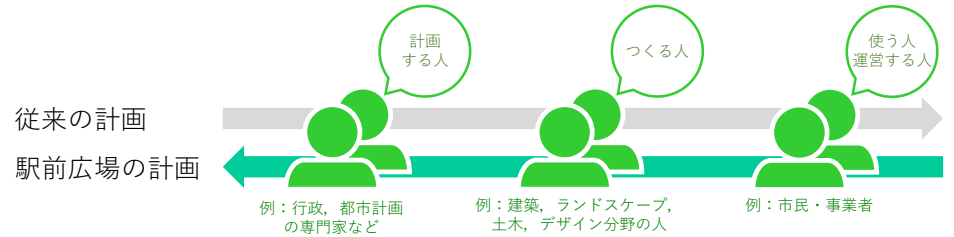
福山駅前再生ビジョンに示す駅周辺の公共空間の再整備のイメージは次のとおりです。



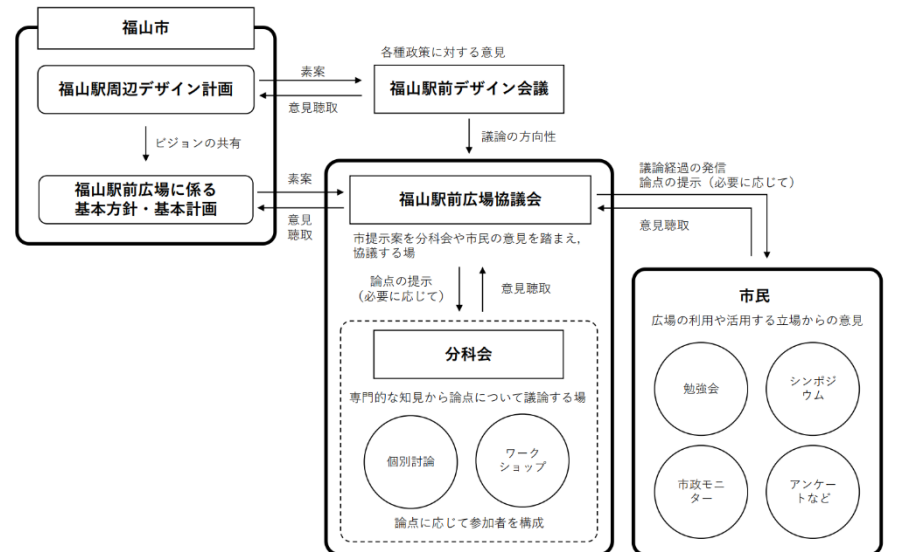
福山駅前再生ビジョンより

04 計画のプロセス

従来のまちづくりは、「計画する→つくる→使う」というプロセスで行われています。駅前広場に必要とされる機能のあり方を検討していくためには、駅前広場の利用者が駅前広場でどのような活動をしたと考えているのかを把握し、多様な関係者と連携しながら、計画を検討していくプロセスが大切になります。



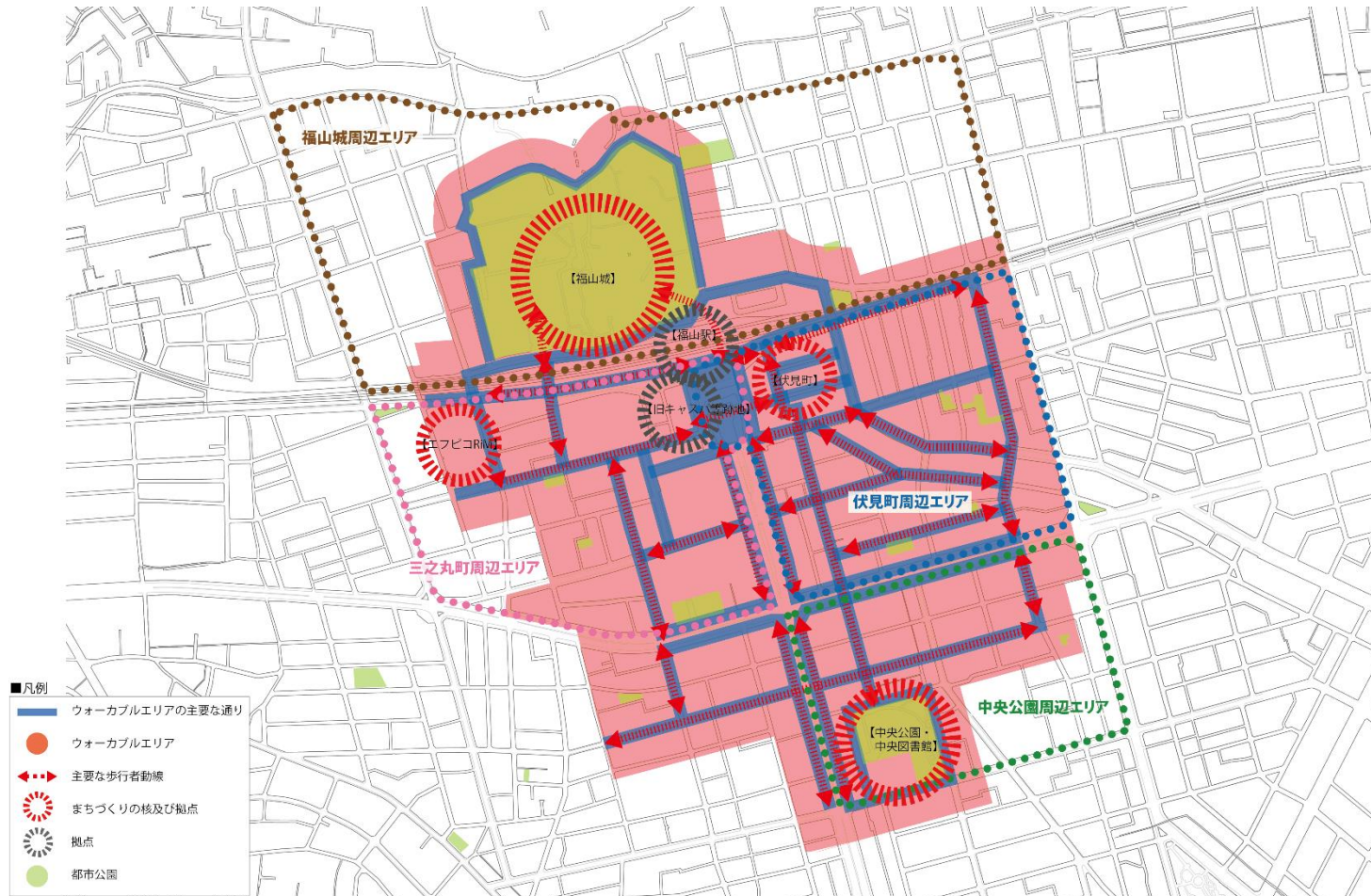
計画策定のプロセス
福山駅前広場デザイン計画を参考に作成



福山駅前広場協議会の枠組み

05 ウォーカブルエリア

まちづくりの核である福山城及び中央公園・中央図書館，エフピコRiM，伏見町と福山駅，旧キャスパ等跡地の6箇所を人が集まる拠点として設定しています。また，拠点周辺や拠点間をつなぐ主要な通りを含む範囲を居心地が良く歩きたくなる区域（ウォーカブルエリア）として設定しています。



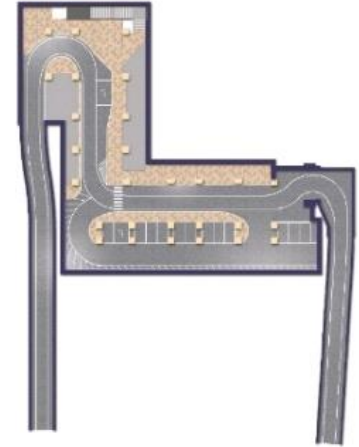
福山駅周辺デザイン計画より

06 現状と問題点

●福山駅前広場の位置



国土地理院の基盤地図情報をもとに編集・加工して作成



- ・広場面積：約14,000㎡
(地下部分約3,300㎡進入・退出路含む。)
- ・構造：地下1階

●福山駅前広場の諸元

区分		数量	備考
バス	乗降場	12バス	路線バスの乗車バス：9バス 長距離バスの乗車バス：1バス 降車バス：2バス
	待機場	8バス	
タクシー	乗車場	4バス	
	降車場	3バス	
	待機場	40バス	
地下送迎場	送迎用乗降場	7台	身体障がい者用1台
	送迎用駐車場	13台	身体障がい者用1台
	エレベーター	1基	

06 現状と問題点

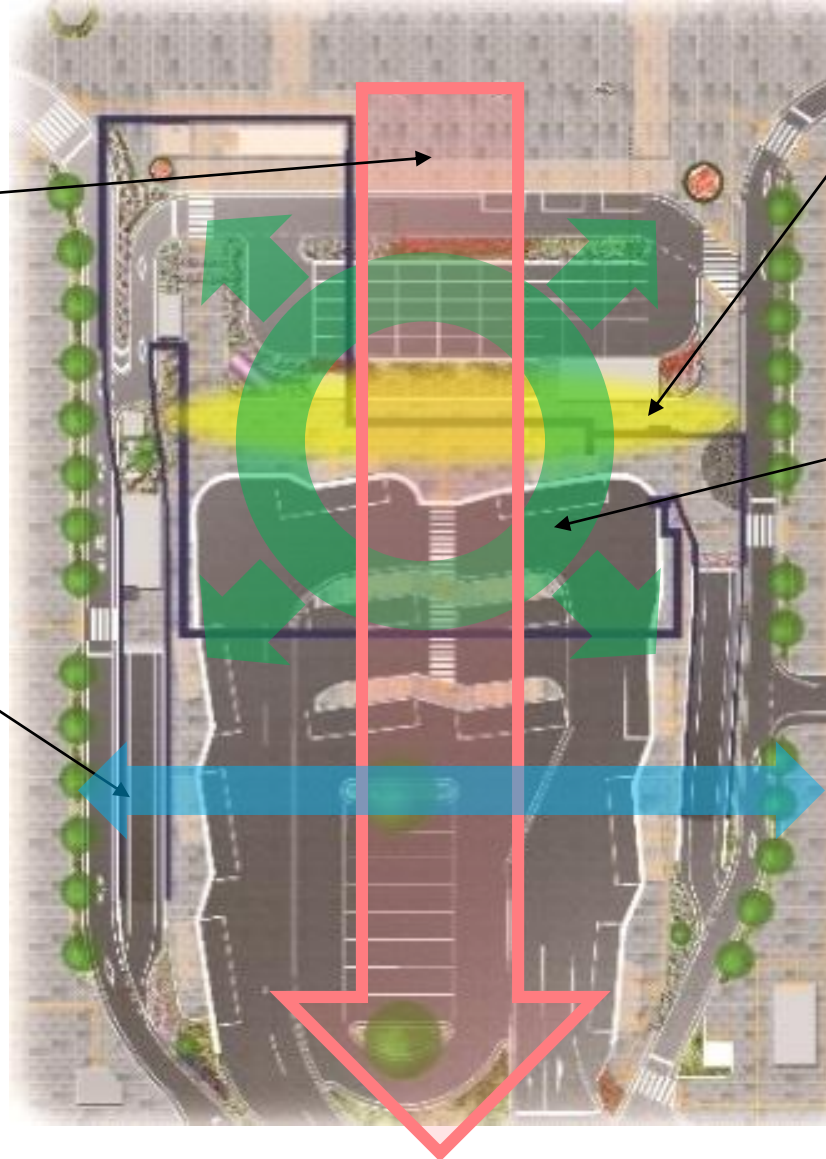
●都市の広場機能に関する主な問題点

①広場内の施設が駅舎から南方向への視界を遮っている。

→視認性の低下は、利用者に心理的な負担を与え、気軽なまち歩きや施設回遊の動機を阻む要因になる。

→駅前広場の空間的な広がりを狭め、玄関口としてのまちのイメージや魅力を低下させる。

②道路や地下送迎場の出入り口、交通島があるため、歩行者が東西方向に移動しにくい。



③まとまったスペースが少ない。

④駅前広場は駅周辺のエリアや各交流拠点をつなぐ場所に位置しているが、十分に市街地拠点機能を果たせていない。

●アンケートで評価が低かった主な項目

- ・ 「人が集い、憩い、くつろぐ空間の広さ」
- ・ 「イベントの実施や飲食店の出店などの広場の活用」
- ・ 「広場の東西の横断のしやすさ」
- ・ 「休憩施設の場所」と「休憩施設の数」
- ・ 「景観の良さ」
- ・ 「多目的トイレ・授乳室など」
- ・ 「インフォメーション」

福山駅前広場に関するアンケート調査（2020年度）より

福山駅前広場の機能検証を参考に作成

06 現状と問題点

●交通結節機能に関する主な問題点

①タクシーの待機場には余裕があり、空間が効率的に活用されていない。
・概ね20台前後で推移（容量40台）
・満空率は平均約31%、ピーク時で約55%

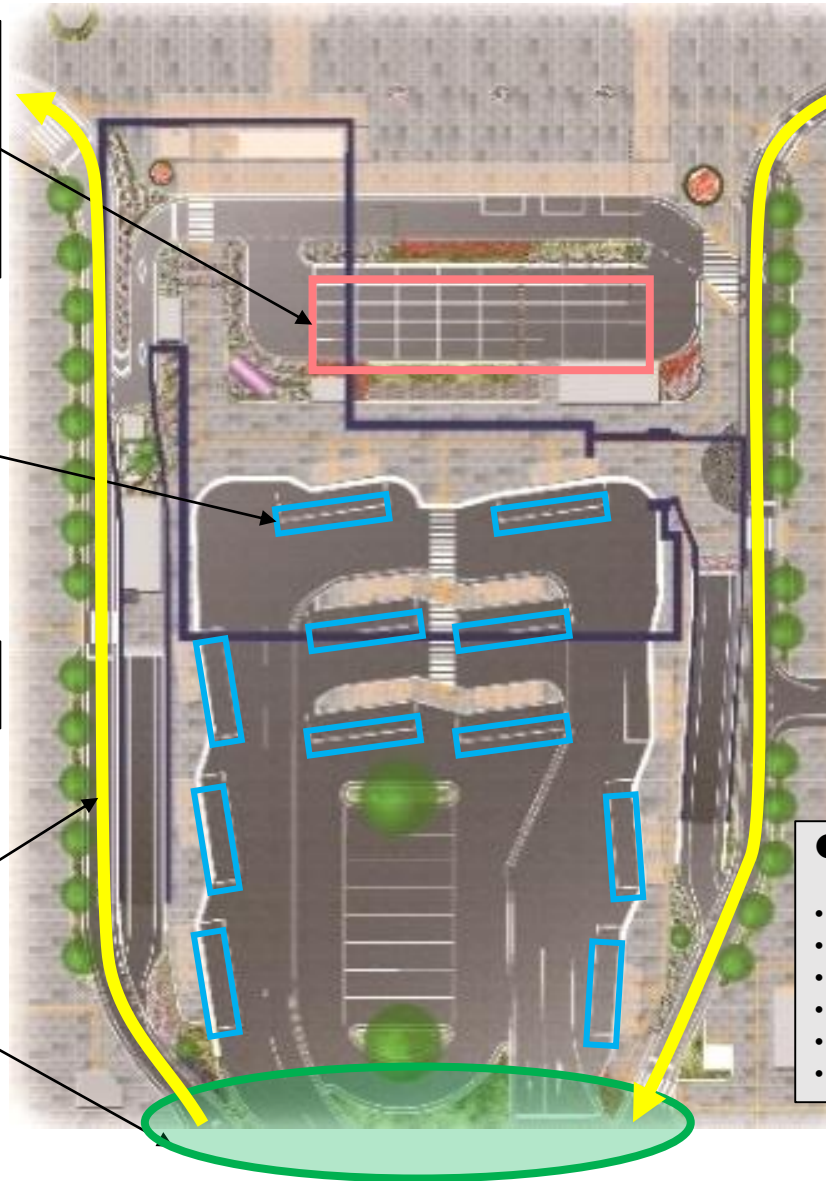
※満空率とは待機場を占めるタクシーの駐車台数の割合のこと

②路線バスの乗降場が乗車させる台数には余裕があり、空間が効率的に活用されていない。
・平均3.4台/時間・バス
・ピーク時5.1台/時間・バス

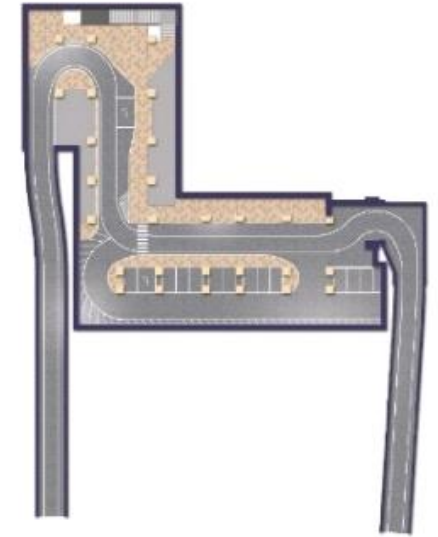
③自転車の流入が多く、歩行者との交錯の危険性がある。

④駅前広場内に通過交通が進入しているため、歩行者との交錯の危険性がある。

⑤駅前広場の南側の交差点が大きく、交通が複雑になっている。



<地下送迎場>



●アンケートで評価が低かった主な項目

- ・ 交差点の走行レーンの分かりやすさ
- ・ 交差点の信号（進行表示）の分かりやすさ
- ・ 地下送迎場の入口の分かりやすさ
- ・ バス乗場の配置（レイアウト）の分かりやすさ
- ・ 自転車の走行による歩行時の安全性
- ・ 屋根の設置場所

福山駅前広場に関するアンケート調査（2020年度）より

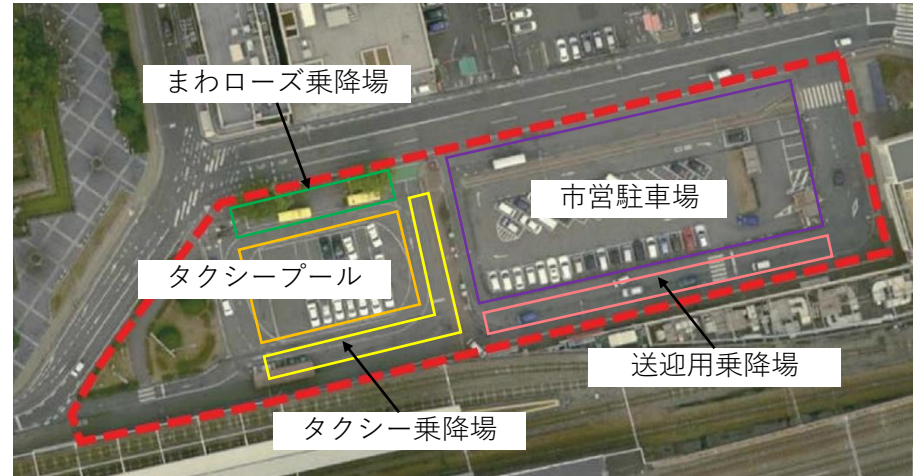
福山駅前広場の機能検証を参考に作成

06 現状と問題点

●福山駅北口広場の位置



国土地理院の基盤地図情報をもとに編集・加工して作成



・広場面積：約6,000㎡

●福山駅北口広場の諸元

区分		数量
バス	まわローズ乗降場	2バス
タクシー	乗車バス	2バス
	降車バス	3バス
	待機場	21バス
送迎用乗降場		15台
市営駐車場		55台

福山駅北口広場整備基本方針を参考に作成

06 現状と問題点

●福山駅北口広場の問題点

The map shows the layout of the Fuyama Station North Exit Plaza. Key areas are highlighted with colored boxes and labels:

- 福山駅北口スクエア** (Fuyama Station North Exit Square): A green-outlined area on the left side of the plaza.
- まわローズ乗降場** (Maru Rose Boarding/Alighting Area): An orange-outlined area near the top left.
- 市営駐車場** (Municipal Parking Lot): An orange-outlined area in the center.
- 福山駅北口広場** (Fuyama Station North Exit Plaza): A red-outlined area at the top right.
- タクシー待機場** (Taxi Waiting Area): An orange-outlined area at the bottom left.
- タクシー乗降場** (Taxi Boarding/Alighting Area): An orange-outlined area at the bottom center.
- 送迎用乗降場** (Boarding/Alighting Area for Drop-off/Pick-up): An orange-outlined area at the bottom right.
- 福山城南側道路歩行者優先空間検討区域** (Area for Review of Pedestrian Priority Space on the South Side of Fuyama Castle Road): A blue-outlined area on the far left.

①施設全体の老朽化
1977年から整備後約45年が経過

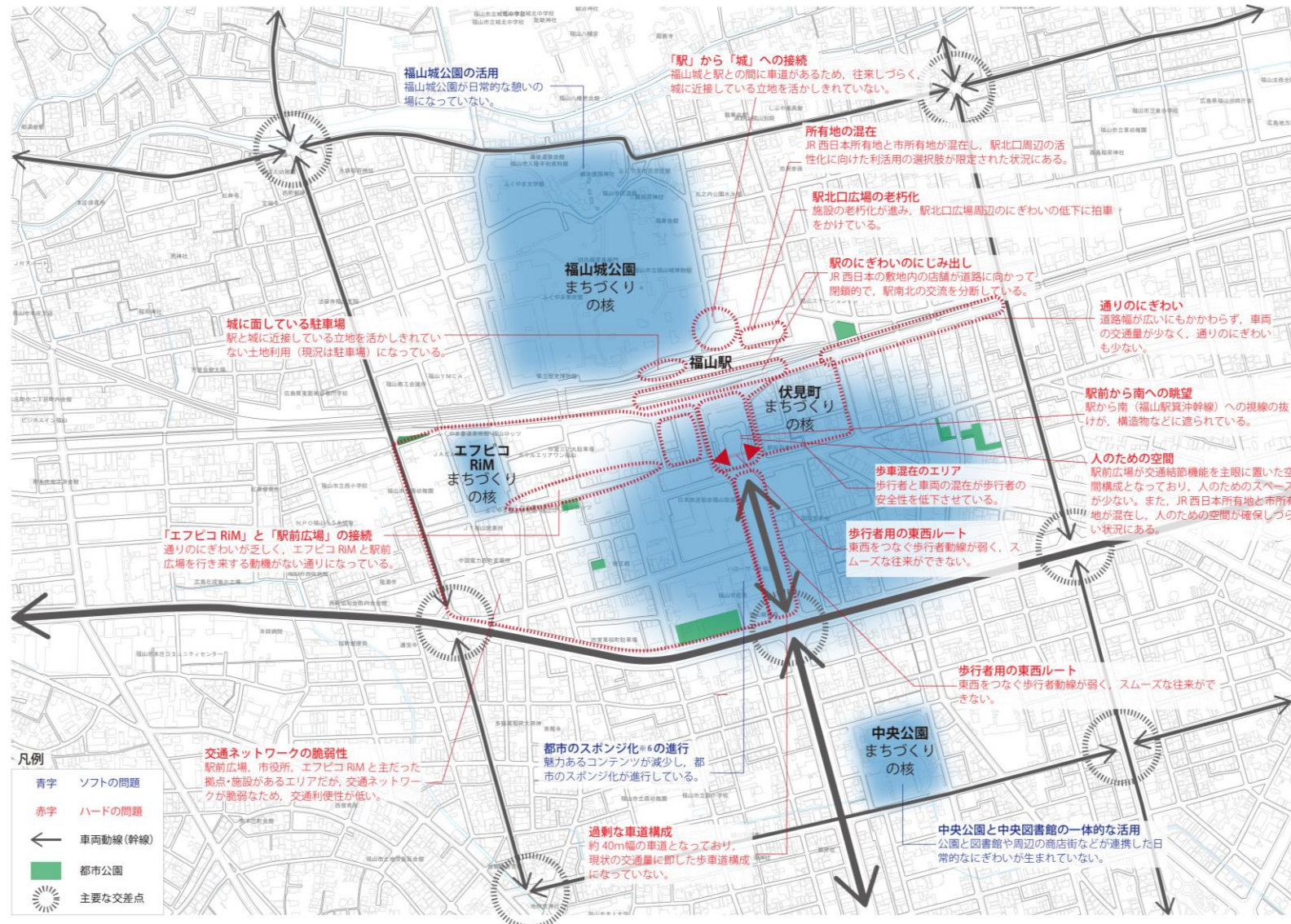
■一般車送迎場の混雑状況

②長時間駐車抑制
送迎車両の長時間駐車により、送迎場が混雑している。

福山駅北口広場整備基本方針を参考に作成

06 現状と問題点

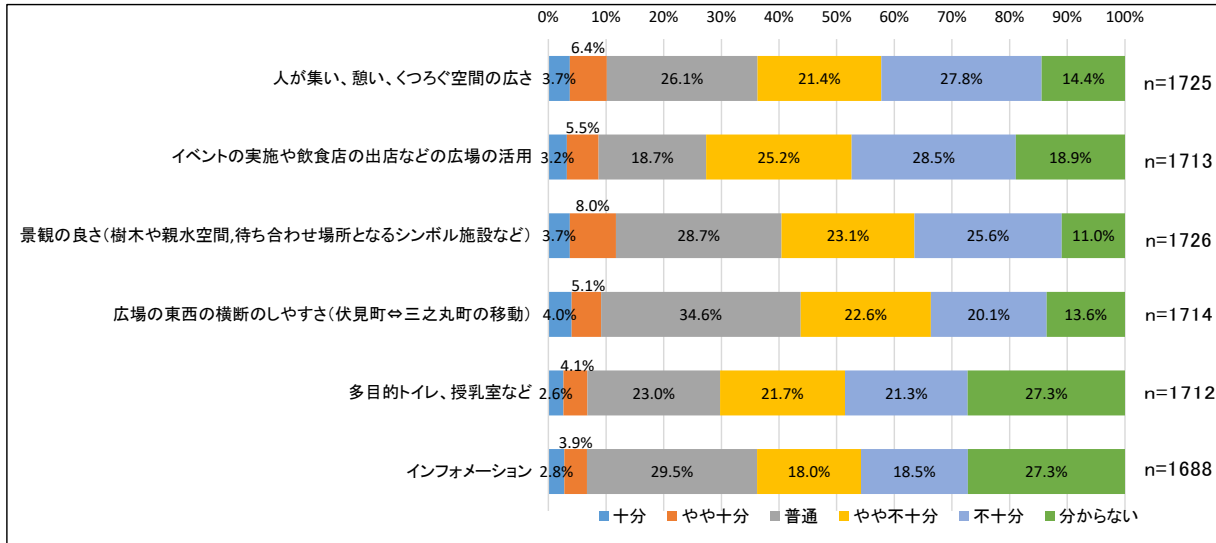
●福山駅周辺の主な問題点



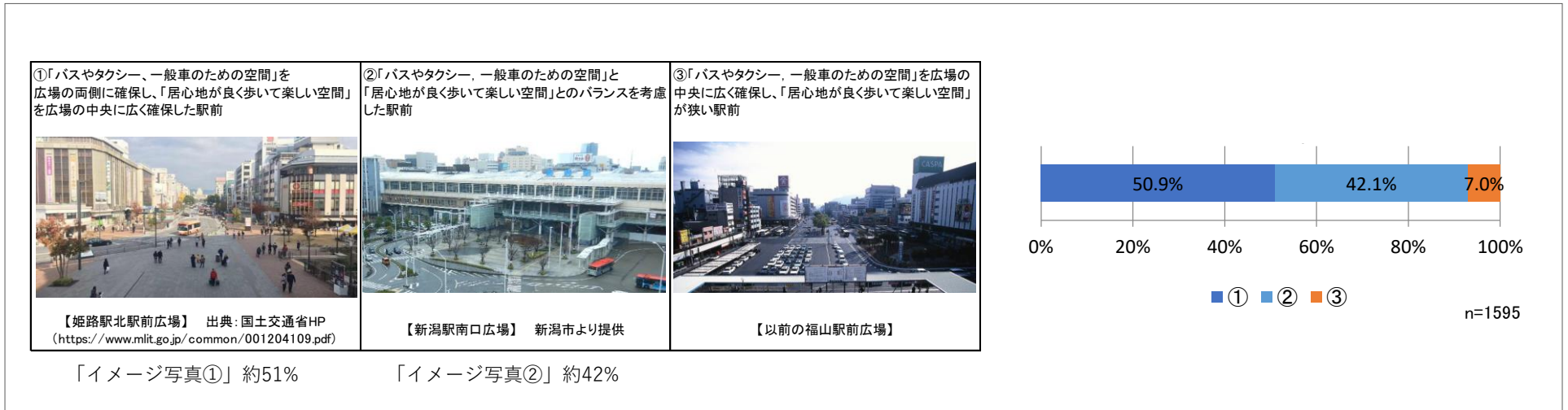
福山駅周辺デザイン計画より

07 意向調査結果

●現在の環境空間に対する評価



●魅力的に感じる駅前のイメージ



福山駅前広場に関するアンケート調査（2020年度）より

07 意向調査結果

● 「居心地が良く歩いて楽しい」と感じる空間のイメージ

① 憩いの空間



出典：姫路市HP
(<https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000002204.html>)

② 史跡を生かした空間



出典：東京都教育委員会HP
(<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/bunkazai/week/chivoda/chivoda02.html>)

③ 芝生広場



出典：国土交通省HP
(<https://www.mlit.go.jp/toshi/machi000047/index.html>)

④ 歩きたくなる空間



⑤ イベントが行われる空間 ⑥ 広場と周辺店舗が
つながる空間



⑦ 仕事ができる空間

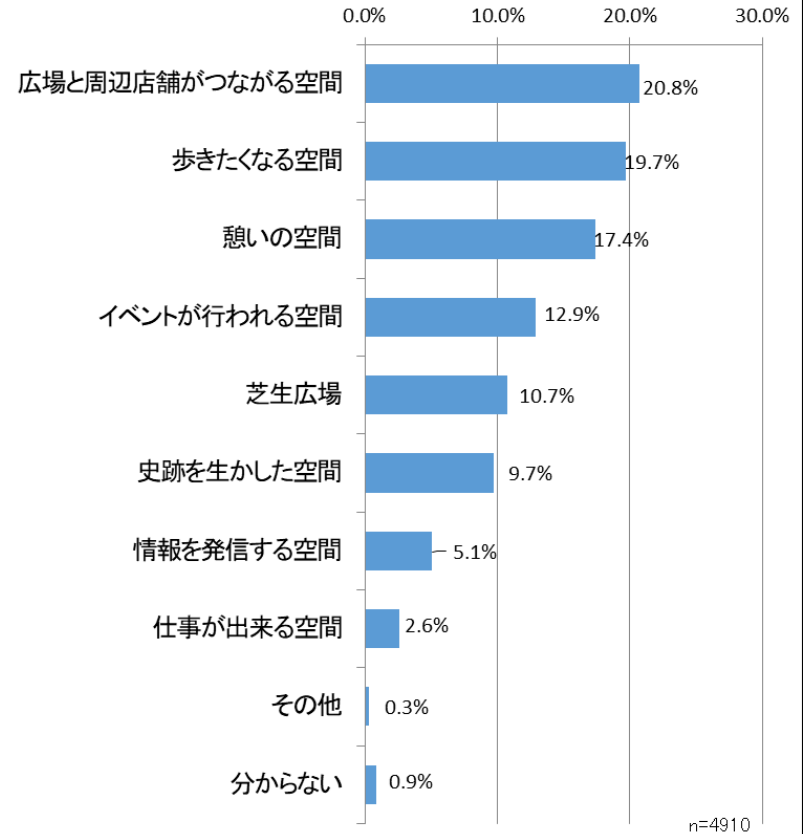


⑧ 情報発信する空間



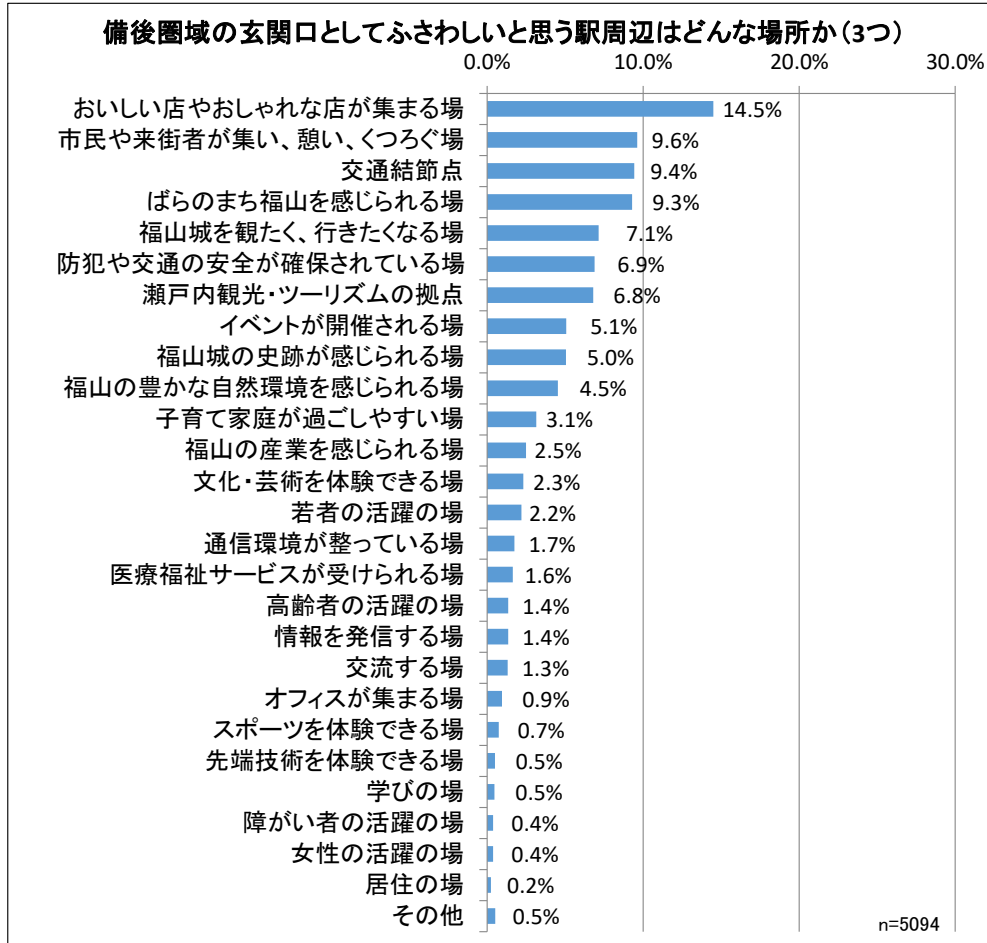
出典：東京都港区HP
(https://www.city.minato.tokyo.jp/houdou/kuse/koho/press/202003/20200331-2_press.html)

「居心地が良く歩いて楽しい」と感じる空間のイメージ(3つ)

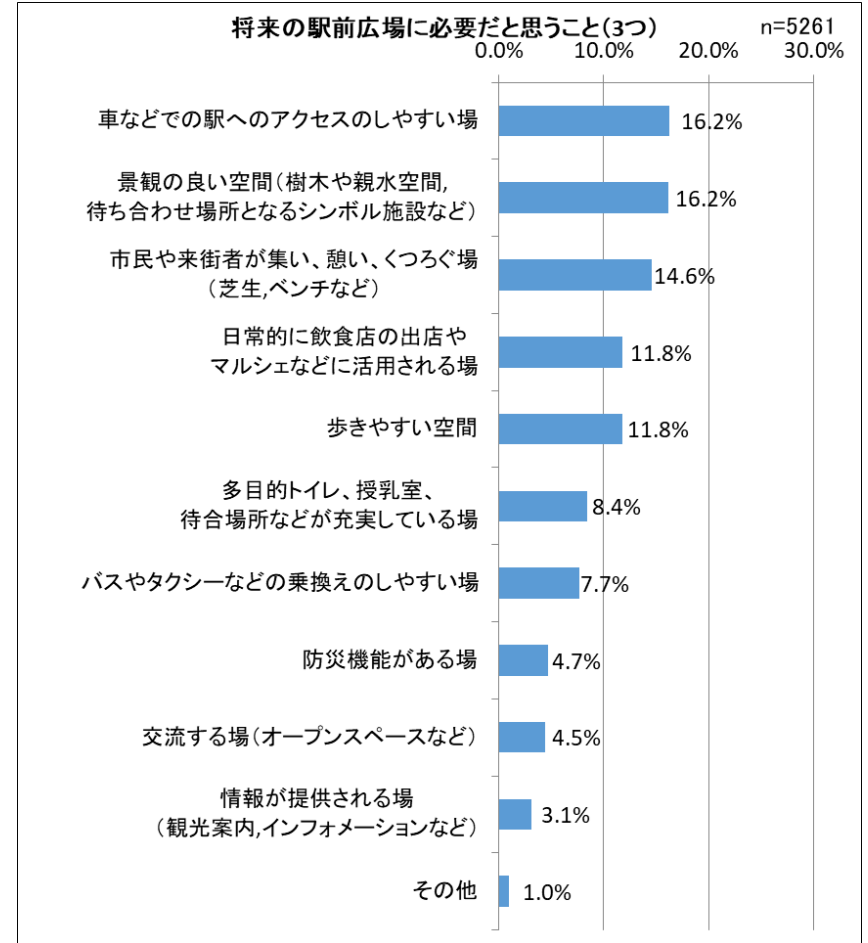


07 意向調査結果

●備後圏域の玄関口としてふさわしいと思う駅周辺とはどんな場所か（3つ）

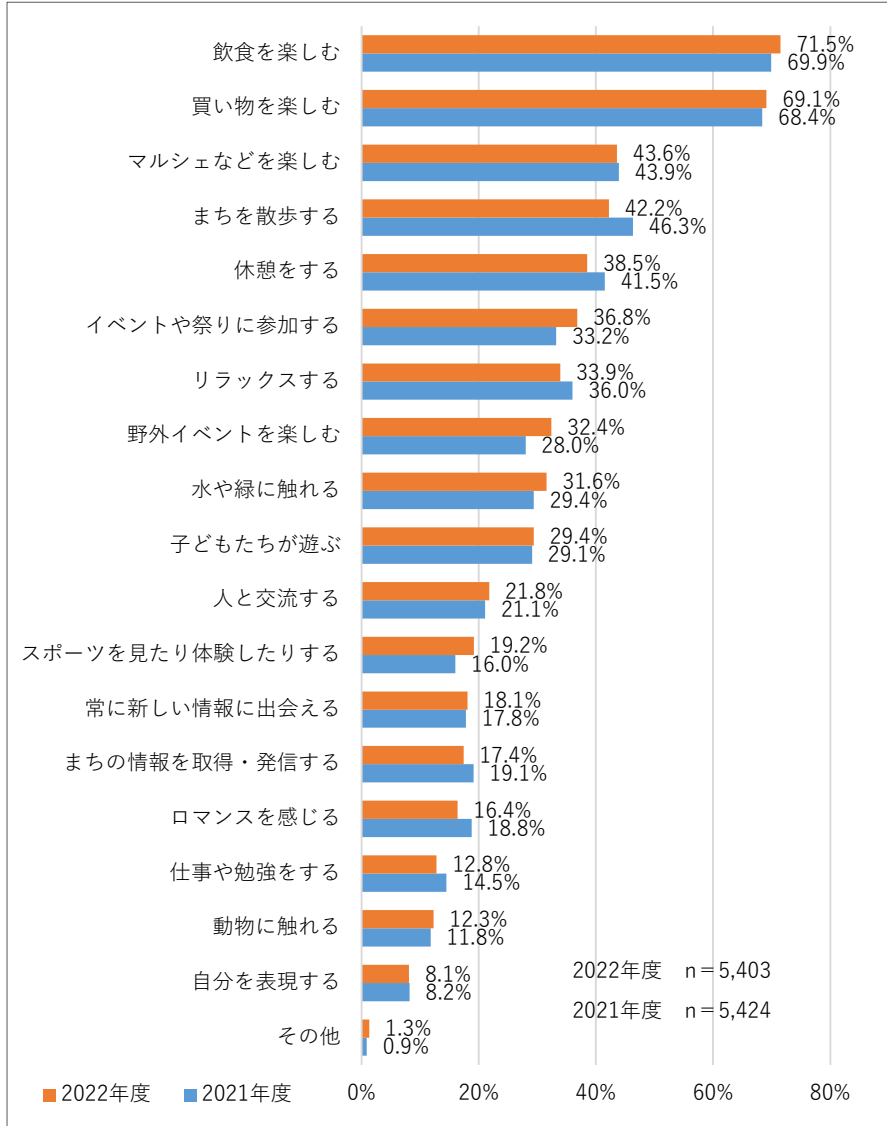


●将来の駅前広場に必要だと思うこと（3つ）

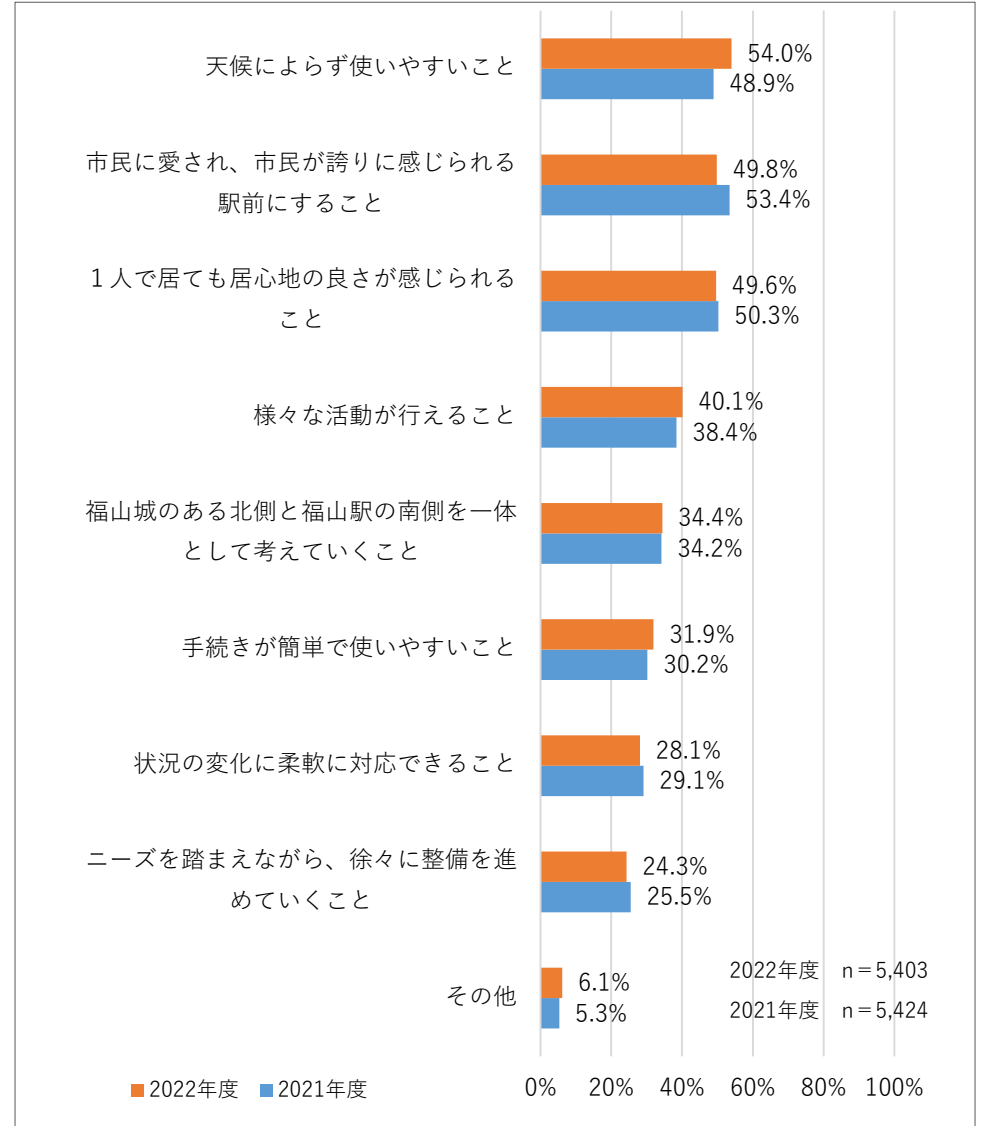


07 意向調査結果

●あなたは福山駅前広場で何がしたいですか (複数回答可)

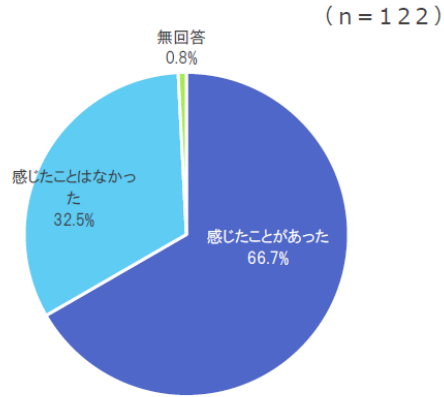


●今後、福山駅前広場の活用を検討する際に大事になることは何だと思いますか (複数回答可)

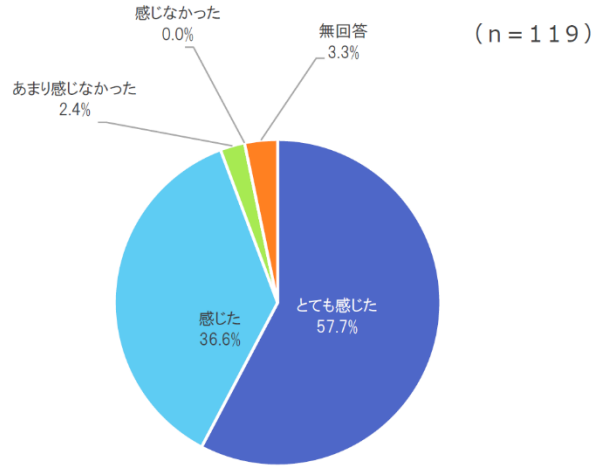


07 意向調査結果

●これまで現在の駅前広場に人が集える空間が足りていないと感じたことはありましたか

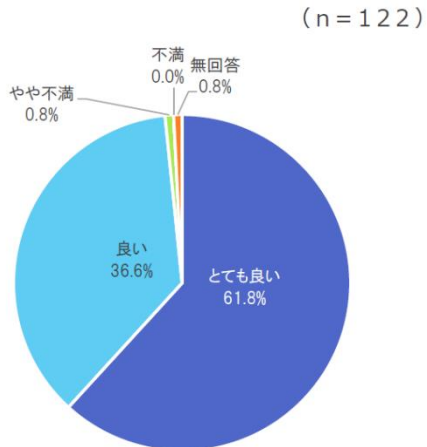


●今回の実験で広場空間を体験してみた結果、将来、駅前広場に広場空間があれば使いたいと感じましたか

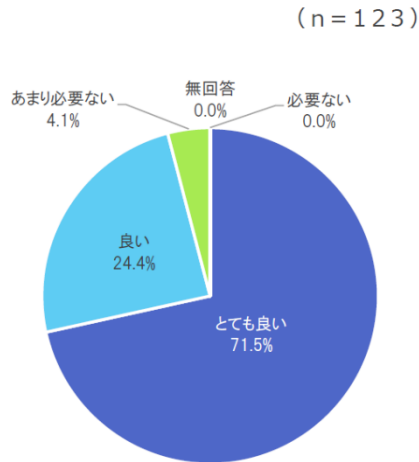


福山駅前広場再編実証実験の様子
2022年（令和4年）11月14日（月）～11月28日（月）開催

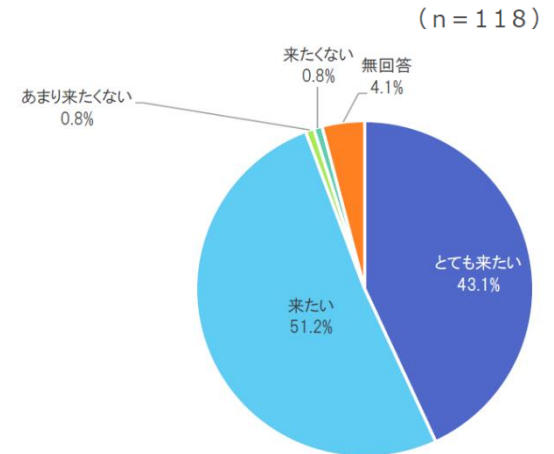
●今回の広場空間の居心地の良さはどう感じましたか



●駅前広場に居心地の良い空間を生み出していく取組についてどう思いますか



●次回あれば来たいですか

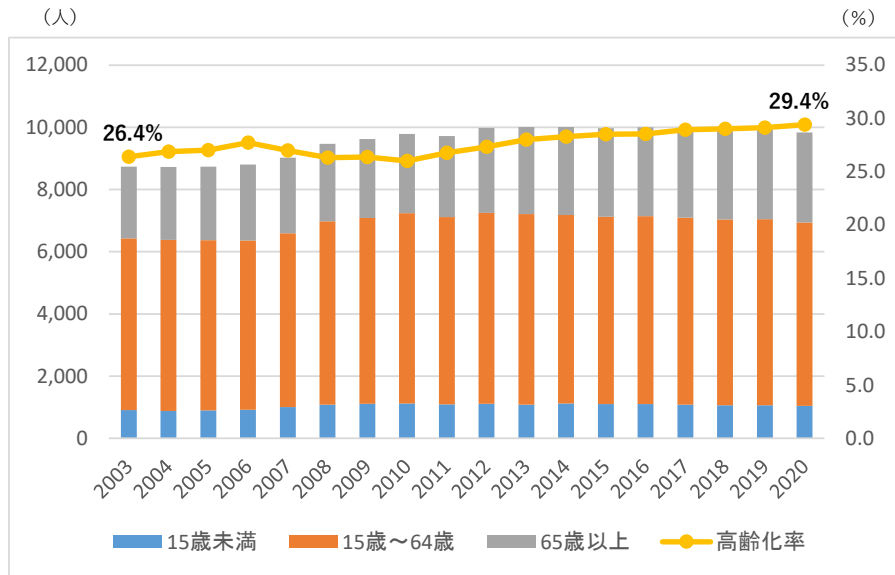


08 交通需要の推移

●ウォーカーブルエリアの人口

- ウォーカーブルエリアの人口は増加傾向にあったものの、近年は**ほぼ横ばい**で推移しています。

ウォーカーブルエリアの人口の推移



ウォーカーブルエリアに含まれる町は次のとおり

今町、笠岡町、霞町一丁目、霞町二丁目、霞町三丁目、光南町一丁目、三之丸町、昭和町、城見町一丁目、大黒町、宝町、道三町、西町一丁目、西町二丁目、西町三丁目、延広町、東桜町、伏見町、船町、丸之内一丁目、丸之内二丁目、明治町、元町、紅葉町

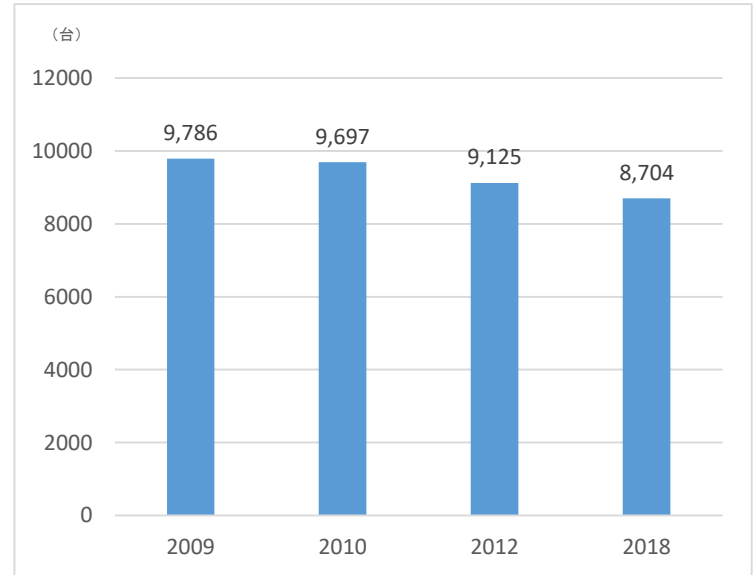
※町境で集計しているため、ウォーカーブルエリア外の居住者を含む。

住民基本台帳より作成

●自動車交通量

- 福山郵便局前の交差点から、福山駅前広場方面に流入する交通量は**減少傾向**にあります。

福山郵便局前の24時間交通量（平日）の推移



国土交通省提供データより作成

調査地点：福山郵便局前交差点

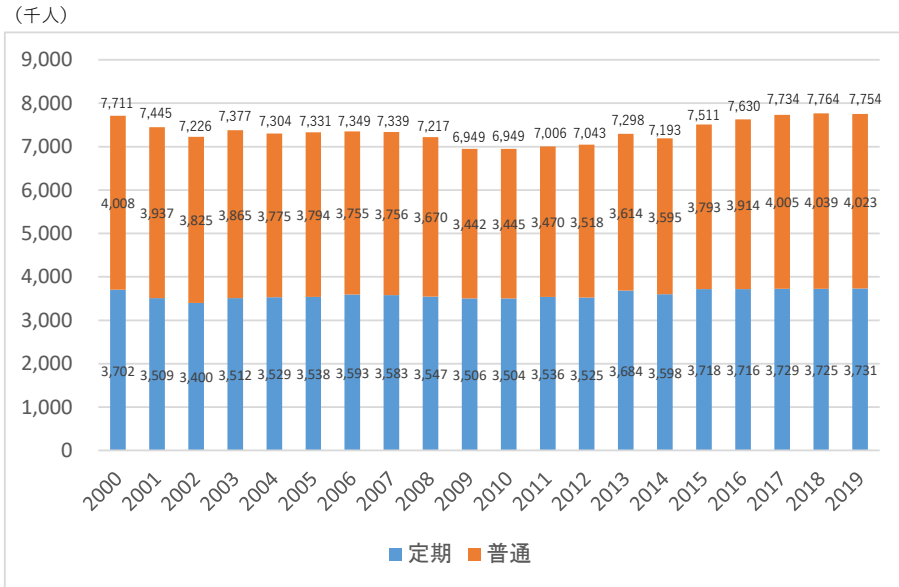


08 交通需要の推移

●鉄道の乗車人員

- JR福山駅の乗車人員は長期的な減少傾向でしたが、近年は**微増傾向**にあります。

福山駅の乗車人員の推移

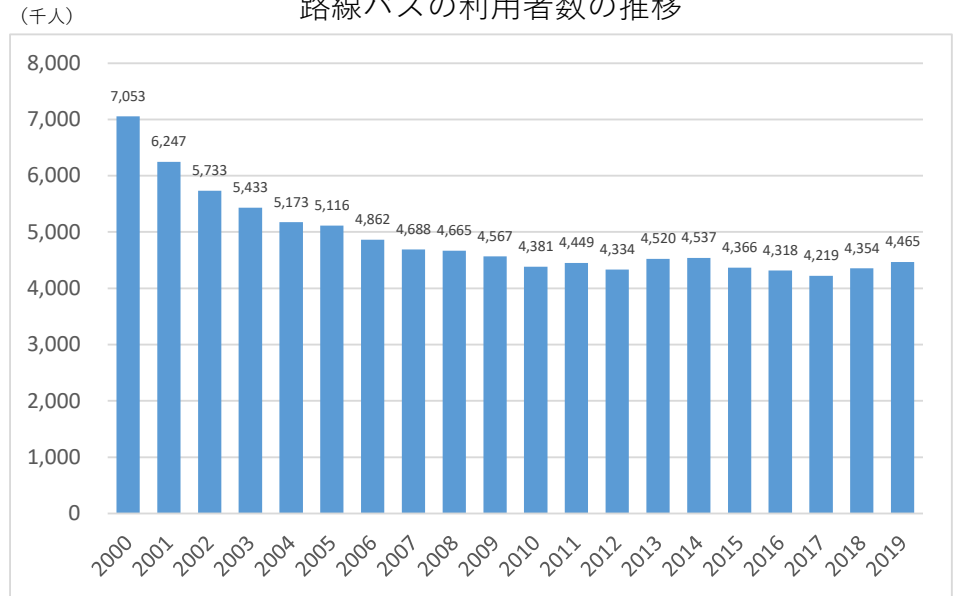


福山・笠岡地域公共交通網形成計画，統計ふくやまより作成

●路線バスの利用者数

- 福山市内を運行する路線バスの利用者数は長期的な減少傾向でしたが、近年は**ほぼ横ばい**で推移しています。

路線バスの利用者数の推移



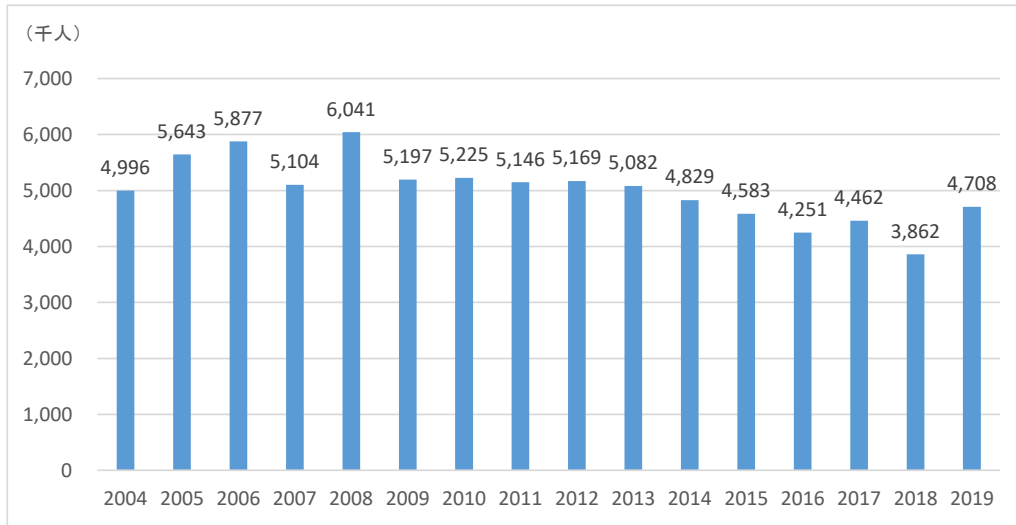
福山・笠岡地域公共交通網形成計画，統計ふくやまより作成

08 交通需要の推移

● タクシー利用者数

- 福山交通圏のタクシーの輸送人員は**減少傾向**でしたが、**近年は増減**を繰り返しています。

福山交通圏のタクシーの輸送人員



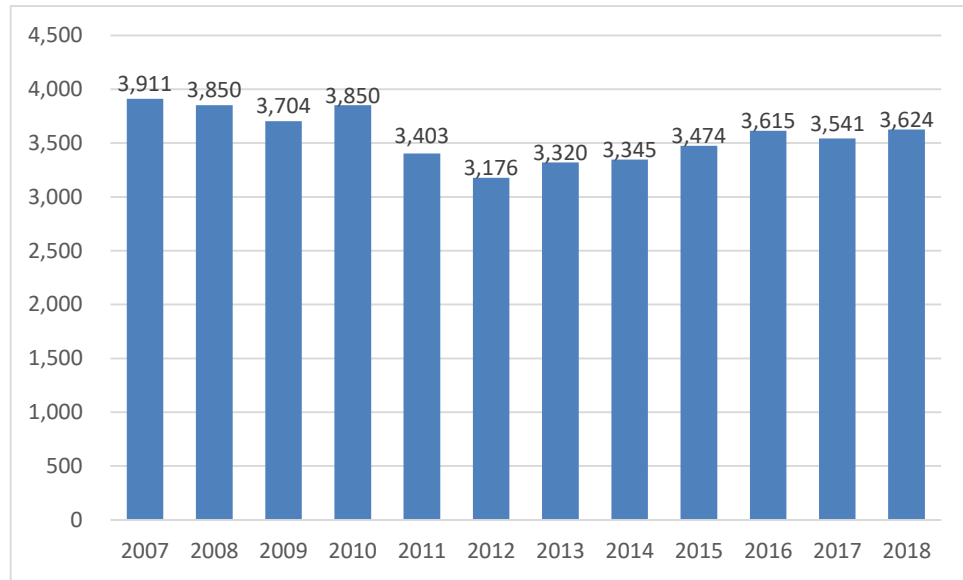
- 福山交通圏の営業区域は福山市、尾道市（昭和32年1月1日編入の旧沼隈群浦崎村の区域に限る）
- 1人1車両制個人タクシーを除く。

運輸要覧（中国運輸局）より作成

● 観光入込客数

- 福山市の観光入込客数は近年**微増傾向**でしたが、新型コロナウイルスの影響により、**今後は不透明**な状況にあります。

福山市の観光入込客数の推移



広島県観光客数の動向より作成

09 これまでの取組

Time Line	デザイン会議	協議会	分科会	シンポジウム	その他	取組内容
2018.3					方針	福山駅前再生ビジョン策定
2020.3					計画	福山駅周辺デザイン計画策定
2020.12~2021.1					アンケート	福山駅前広場に関するアンケート調査（回答者数1,821人）
2021.2	第9回					第9回福山駅前デザイン会議「ウォーカブルな駅前広場のあり方について」
2021.3					検証	福山駅前広場の機能検証（暫定）
2021.5	第10回					第10回福山駅前デザイン会議「ウォーカブルな駅前広場の実現に向けて」
2021.7~2021.8					アンケート	第2回福山市市政モニターアンケート「福山駅前広場の今後のあり方について」
2021.8				第1回		第1回福山駅前広場デザインシンポジウム「まちを変える公共空間の作り方と使い方」
2021.8	第11回					第11回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場の環境空間のイメージを共有しよう」
2021.9~2021.12					アンケート	福山駅前広場に関するアンケート調査（回答者数5,424人）
2021.10		第1回				第1回福山駅前広場協議会「現在の福山駅前広場の問題点について」
2021.11			第1回			第1回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「交通結節機能の配置案について」

09 これまでの取組

Time Line	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">デザイン会議</div> <div style="background-color: #ffc000; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">協議会</div> <div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">分科会</div> <div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">シンポジウム</div> <div style="background-color: #f44336; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">その他</div> </div>	取組内容
2021.11	<div style="position: relative; height: 60px;"> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第2回</div> </div>	第2回福山駅前広場デザインシンポジウム「市民が愛着と誇りを持てる駅前広場を考えよう」
2021.12	<div style="position: relative; height: 55px;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); background-color: #00b050; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第2回</div> </div>	第2回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「福山駅前広場の各機能の配置計画案について」
2022.1	<div style="position: relative; height: 60px;"> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #f44336; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">素案</div> </div>	福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）の作成
2022.1	<div style="position: relative; height: 60px;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); background-color: #ffc000; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第2回</div> </div>	第2回福山駅前広場協議会「福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）について」
2022.2	<div style="position: relative; height: 55px;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第12回</div> </div>	第12回福山駅前デザイン会議「2021年度取組報告及び次年度に向けて」
2022.3	<div style="position: relative; height: 60px;"> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第3回</div> </div>	第3回福山駅前広場デザインシンポジウム「未来の福山駅前広場を大公開」～みんなでワクワクする駅前広場を作ろう～
2022.6	<div style="position: relative; height: 55px;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第13回</div> </div>	第13回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場の検討について」
2022.6～2022.8	<div style="position: relative; height: 60px;"> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #f44336; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">アンケート</div> </div>	福山駅前広場に関するアンケート調査（回答者数5,568人）
2022.8	<div style="position: relative; height: 60px;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); background-color: #ffc000; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第3回</div> </div>	第3回福山駅前広場協議会「素案に対する意見の整理と今後の検討について」
2022.8	<div style="position: relative; height: 55px;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第14回</div> </div>	第14回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場の基本方針について」
2022.9	<div style="position: relative; height: 60px;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); background-color: #00b050; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">第3回</div> </div>	第3回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「交通施設の配置計画の検証について」
2022.11	<div style="position: relative; height: 55px;"> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); background-color: #f44336; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px;">実証実験</div> </div>	福山駅前広場再編実証実験（2022.11.14～2022.11.28）

09 これまでの取組

Time Line		取組内容
2022.11		第4回福山駅前広場デザインシンポジウム「まちを変える駅前広場の使い方とは」
2023.1		第4回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討）「基本方針に示す配置計画案の評価について」
2023.2		福山駅前広場整備基本方針案の作成
2023.2		第4回福山駅前広場協議会「福山駅前広場整備基本方針（案）について」
2023.2		第15回福山駅前デザイン会議「福山駅前広場整備基本方針（案）について」
2023.2～2023.3		パブリックコメント
2023.3		第5回福山駅前広場協議会分科会（交通結節機能検討） <small>「駅前広場の全面広場化に向けた各機能の配置計画の検討について」</small>
2023.3		第5回福山駅前広場デザインシンポジウム「魅力的な駅前広場をマネジメントするのはあなた！」
2023.3		福山駅前広場整備基本方針の策定

これまでの取組の詳細に関しては、福山市ホームページからご覧いただけます。

【URL】 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/ekisyuu hensaisei/>



10 福山駅前広場協議会構成員名簿

役職	名前・所属・職名
委員	佐々木伸子（福山大学工学部建築学科准教授）
座長	清水義次（株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役・福山駅前デザイン会議座長）
委員	西村浩（株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役・福山駅前再生アドバイザー）
座長代理	渡邊一成（公立大学法人福山市立大学都市経営学部教授）
委員	一般社団法人広島県タクシー協会東部支部
委員	一般社団法人福山青年会議所
委員	株式会社築切家守舎
委員	公益社団法人広島県バス協会
委員	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所
委員	三之丸町町内会
委員	特定非営利活動法人福山市身体障害者団体連合会
委員	独立行政法人都市再生機構
委員	西日本旅客鉄道株式会社
委員	ひろぎんエリアデザイン株式会社
委員	広島県地域政策局
委員	広島県東部観光推進協議会
委員	広島県土木建築局
委員	広島県福山東警察署
委員	福山市建設局
委員	福山市自治会連合会
委員	福山市商店街振興組合連合会
委員	福山市バス交通利用促進協議会
委員	福山商工会議所
委員	伏見町町内会

（委員は五十音順。敬称略）

福山駅前広場整備基本方針

発行日：2023年（令和5年）3月

発行：福山市 建設局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課
〒720-8501 福山市東桜町3番5号
電話：084-928-1093 FAX：084-928-1735
URL：<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>